

魔王様と

小さな寵姫ちゃん

18禁



アキツ皇国
魔界派遣軍 前進司令部

魔族たちの勢いは止まりません。

ミドー河の渡河点は
完全に敵の制圧下であり、
続々と機械兵器が侵入しています。

.....

我が軍の歩兵では全くの力不足です。
生身の魔物ならともかく、
鉄製の車には歯が立ちません。

有効打を加えられるのは
現状、魔術師達のみですが...

魔術師たちは真つ先に
敵の攻撃目標にされており、
損害が拡大中です。

大兵力をそろえるために
歩兵を多く編成したのが仇になったか...

どうかして主力部隊を敵から引きはがし、
国境線まで撤退できればいいのですが...



私が出ます。

敵の追撃部隊は私が足止めします。

できるだけ時間を稼ぐので、
皆は兵士たちを連れて撤退を。

スッ



姫巫女様を殿軍しんがりになど出せません！

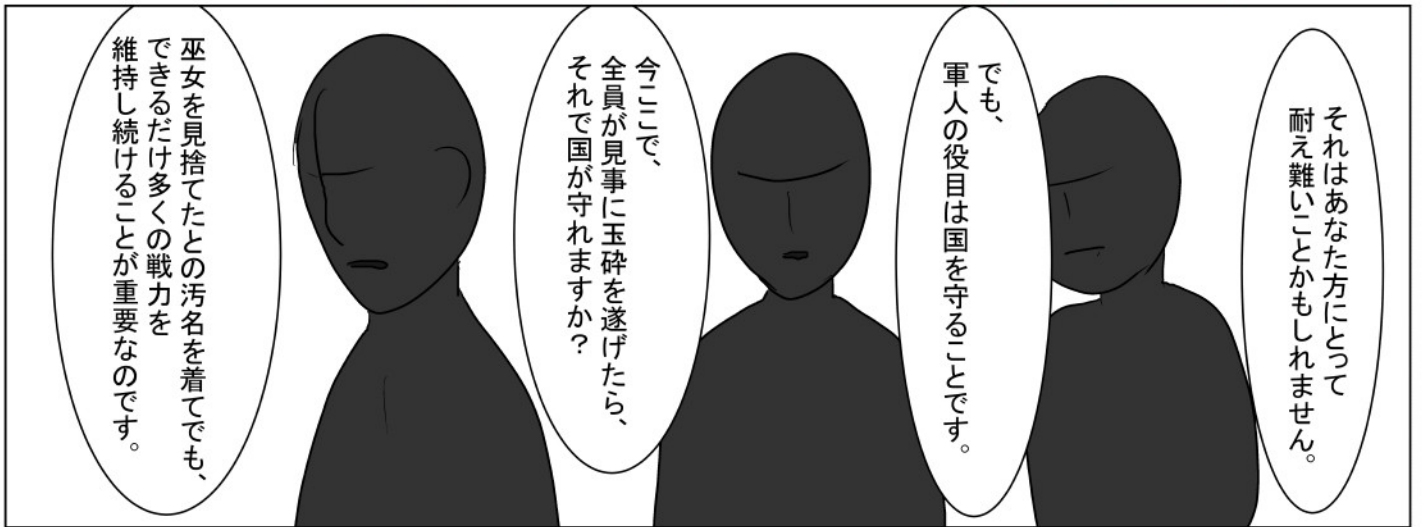


そっ…
そんなっ！
姫様に！



そうですね。
無事に国に戻っても…
きっと…

「巫女を囮にして逃げおおせた」と、
心無い者たちは
嫌味を言っでしょっね。



それはあなた方にとって
耐え難いことかもしれません。

でも、
軍人の役目は国を守ることです。

今ここで、
全員が見事に玉砕を遂げたら、
それで国が守れますか？

巫女を見捨てたとの汚名を着ても、
できるだけ多くの戦力を
維持し続けることが重要なのです。



そんなに悲しそうな顔しないでください。
別に死に行くわけじゃないですよ？

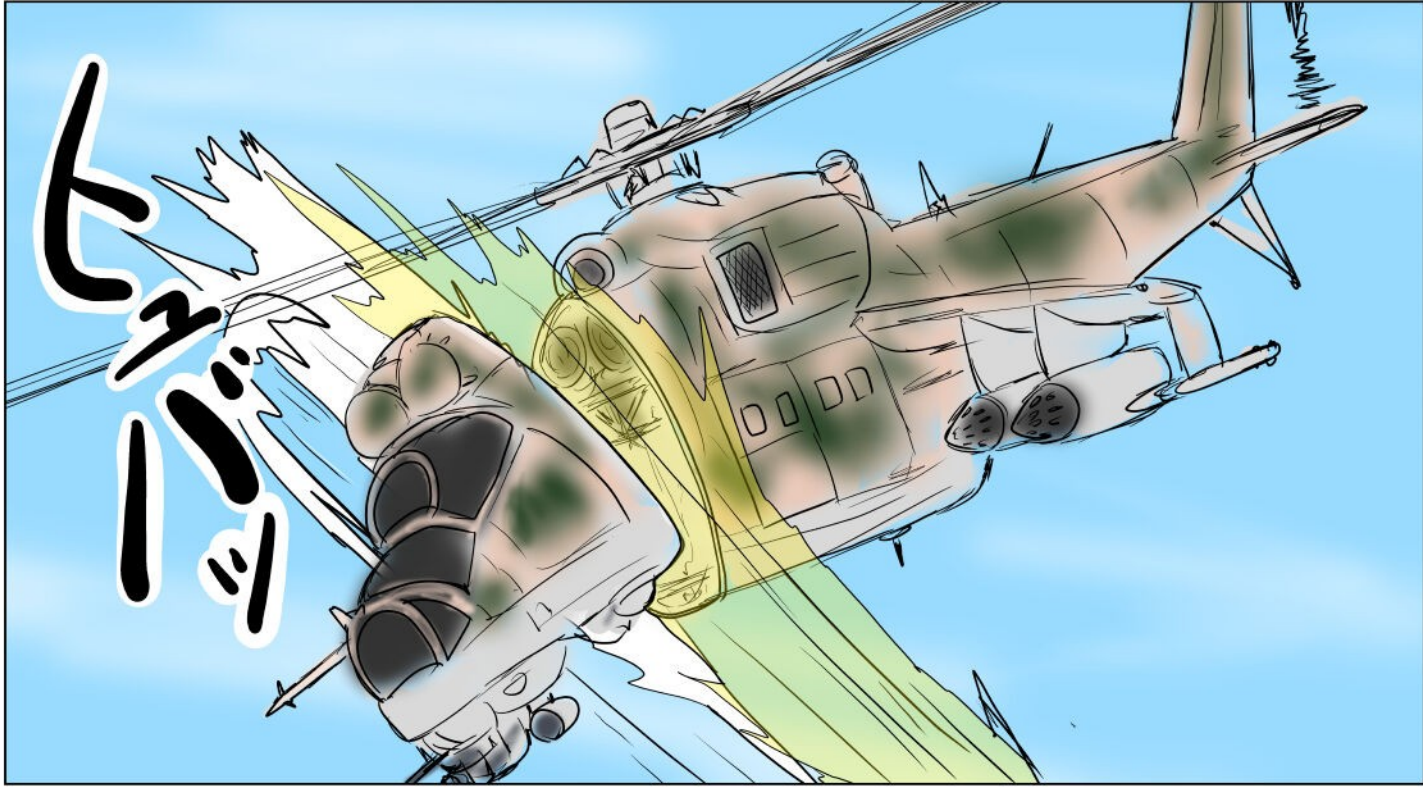
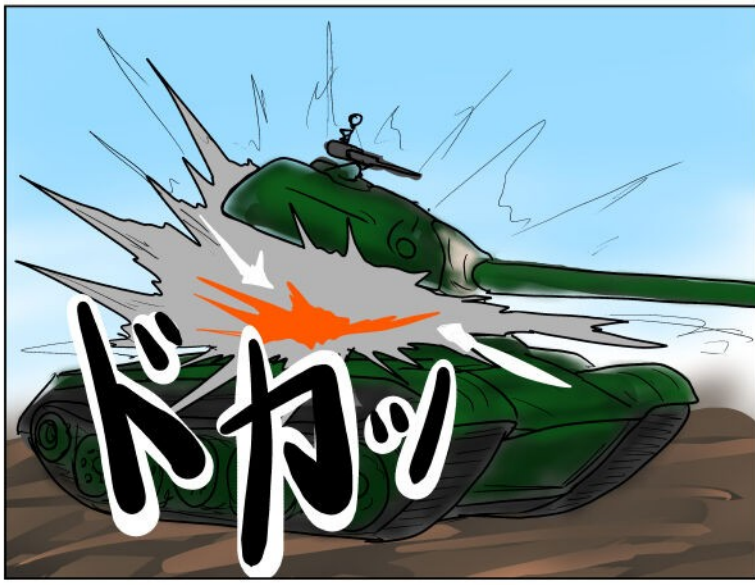
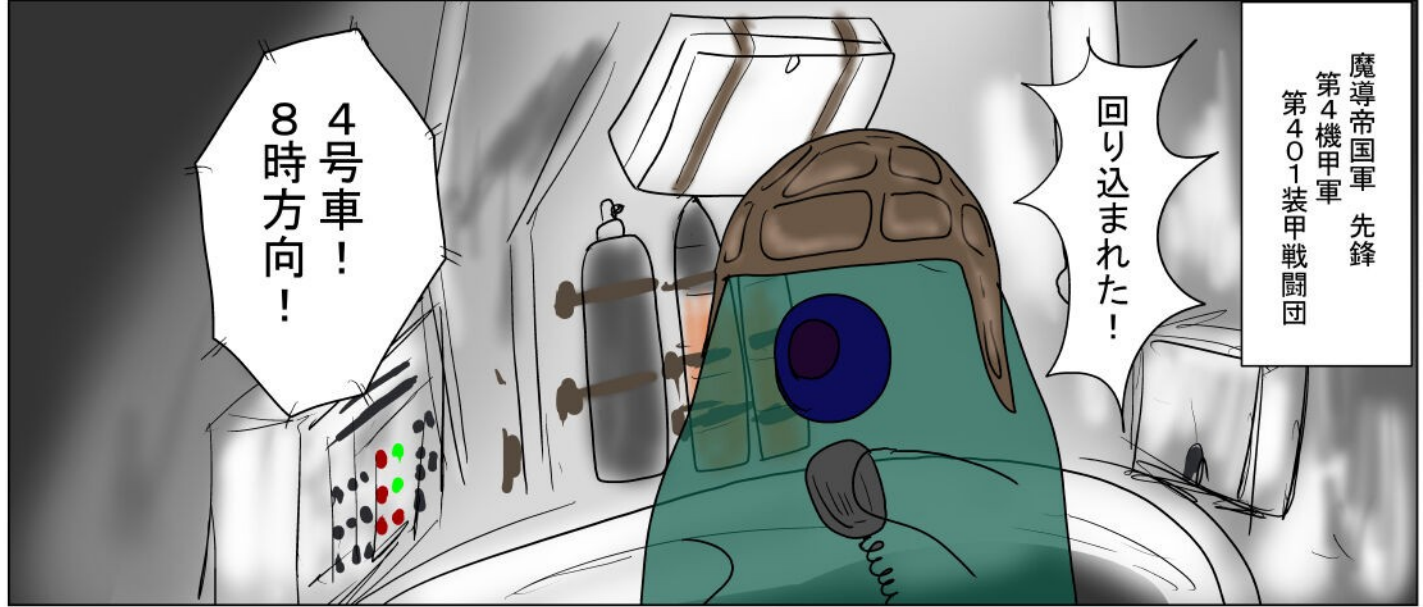
皆さんも知っているでしょう？

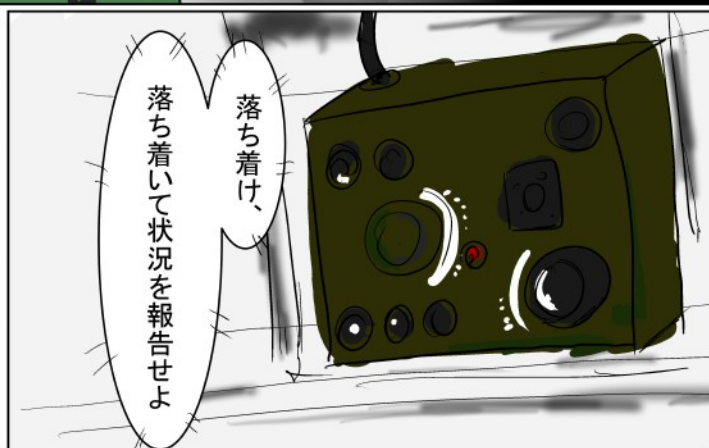
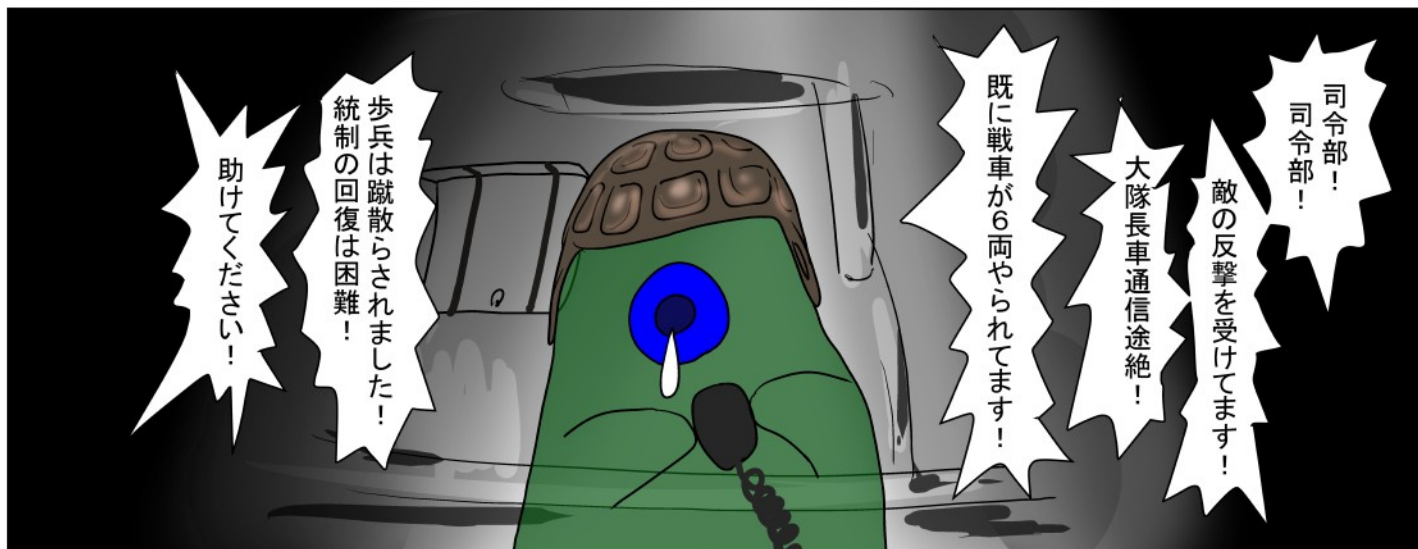
私、強いんですよ。

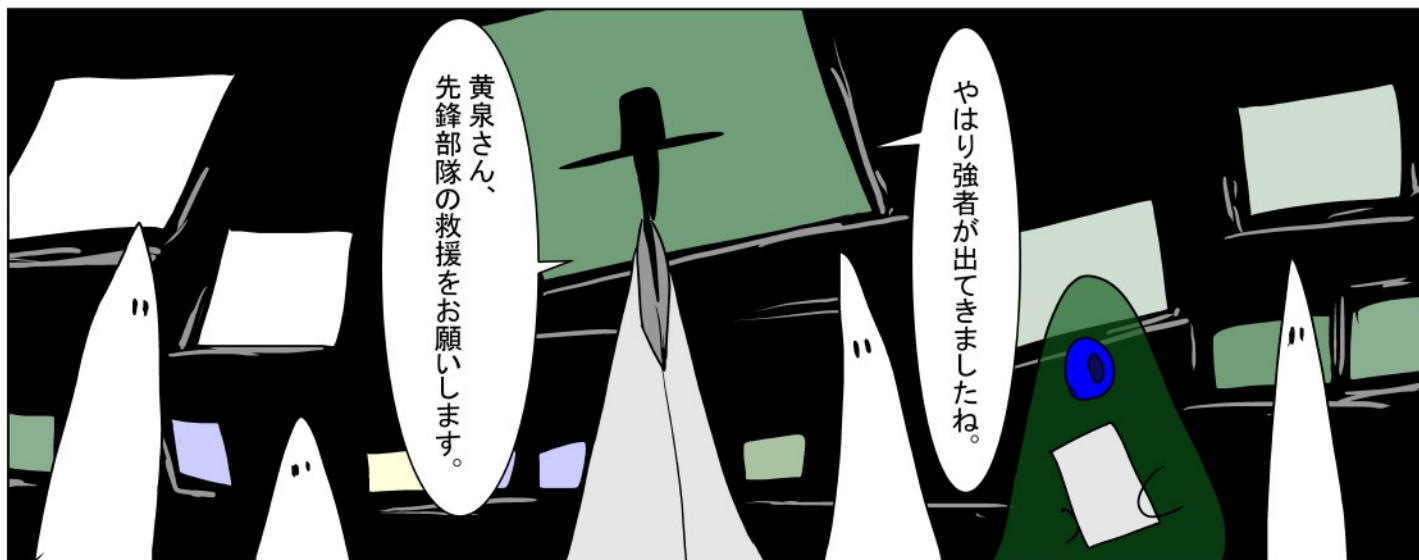
魔導帝国軍 先鋒
第4機甲車
第401装甲戦闘団

回り込まれた！

4号車！
8時方向！







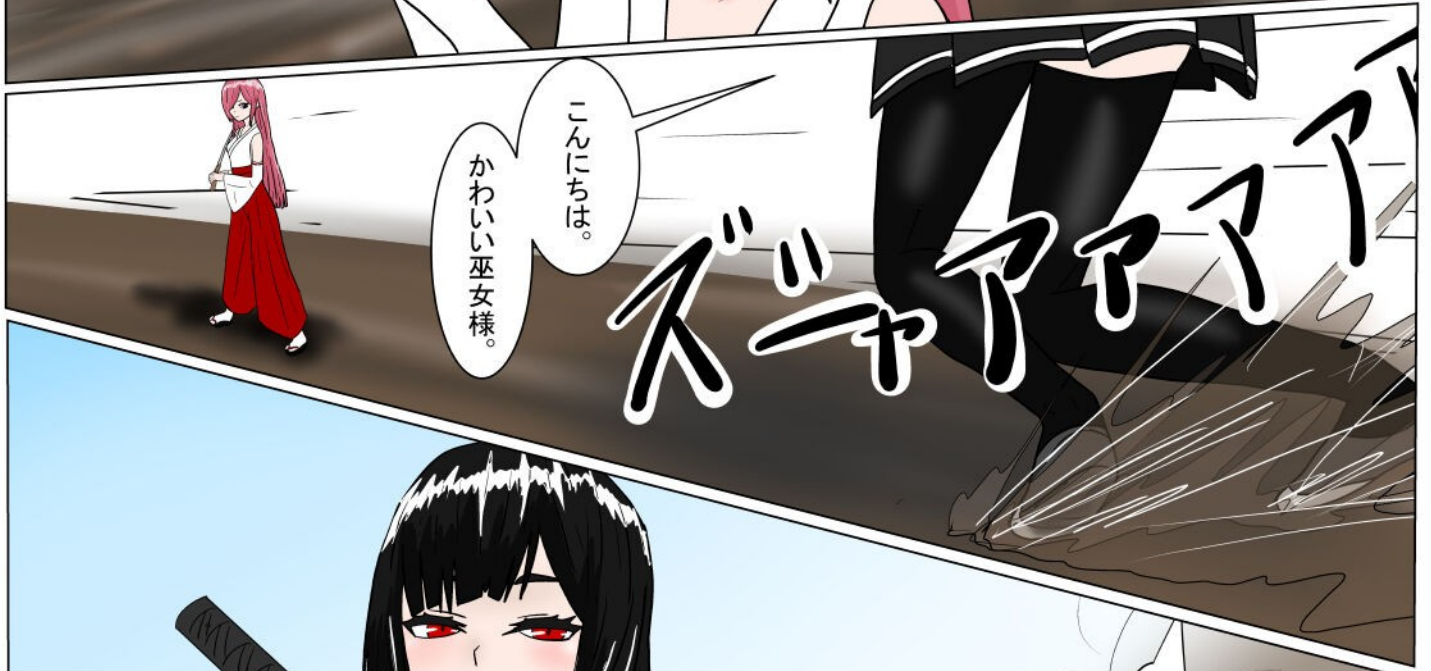
黄泉さん、
先鋒部隊の救援をお願いします。

やはり強者が出てきましたね。



いつかおっちゃんですか。

しょうがないなあ……





まさかたった1人で
装甲部隊を蹴散らすなんて…

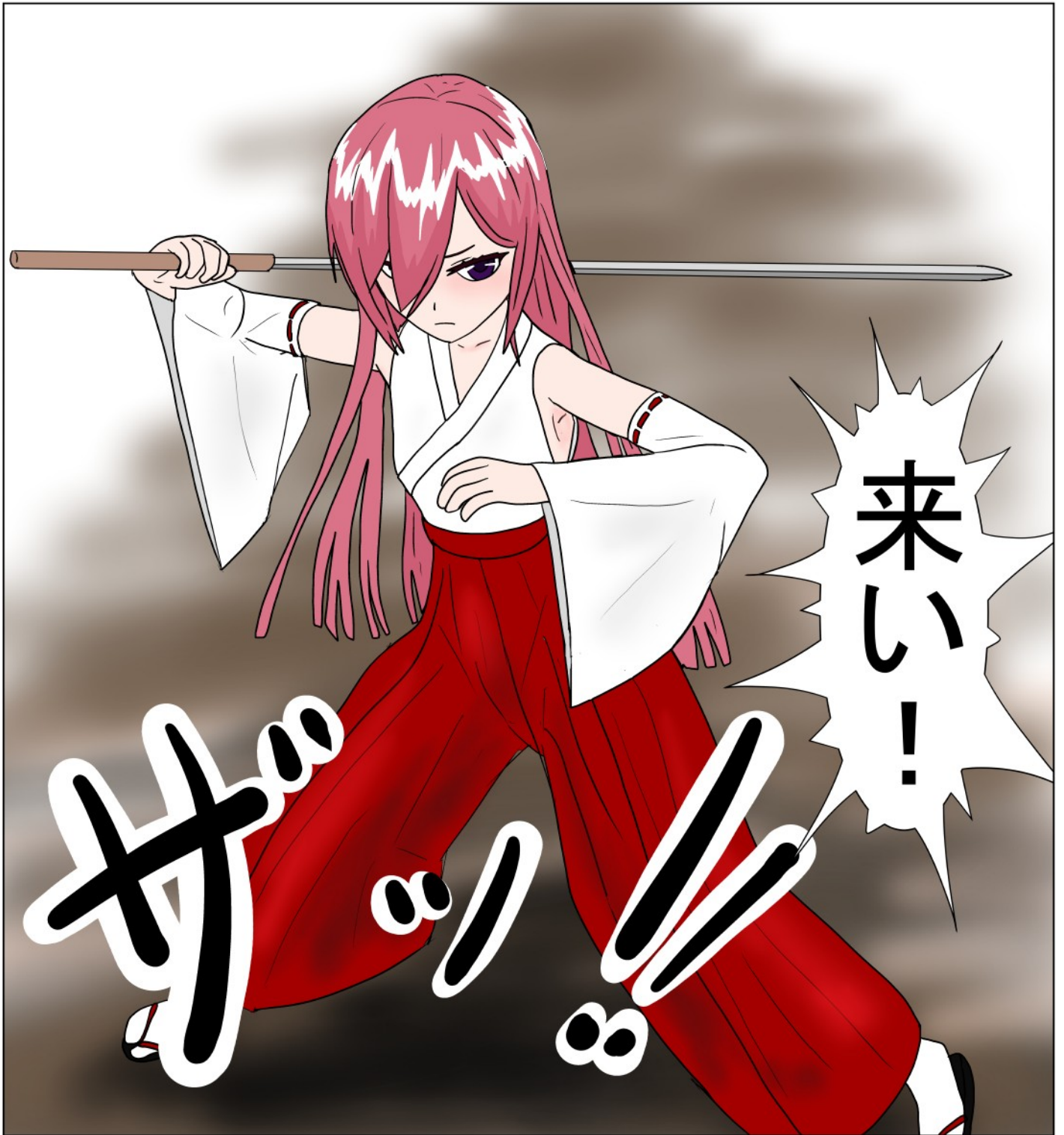
巫女様はまだ小さいのに
とっても強いんですね。

でも、
あんまり好き勝手に暴れられると
私たちも困っちゃうんですよ。



だからちょっとだけ…

お仕置きしちゃっござ♡



来い!

[Redacted]

[Redacted]

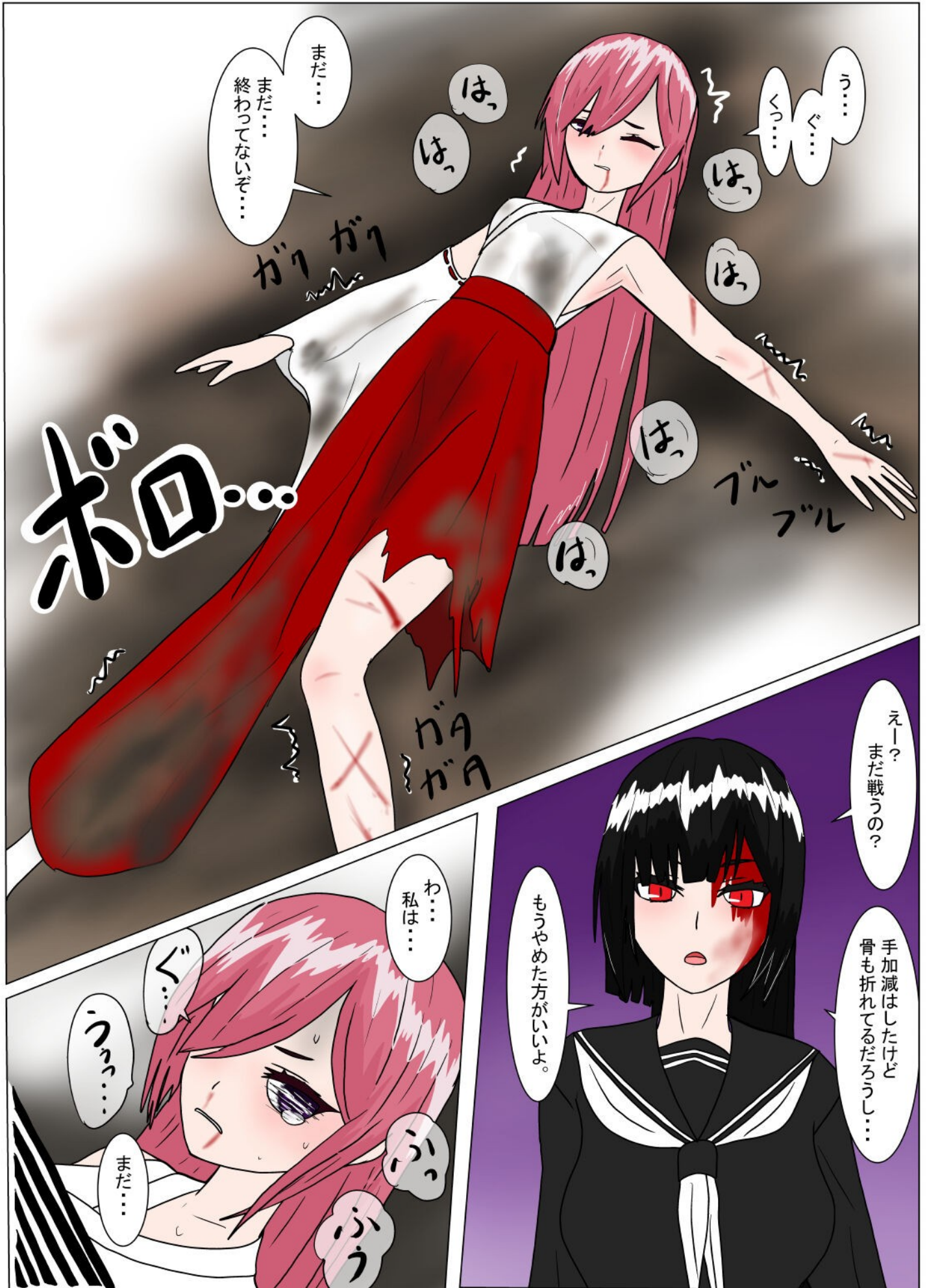
[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]





まだ...
まだ...
終わってないぞ...

は、
は、

う...
く...
ぐ...

は、
は、

ががが

ボロ...

ブルブル

は、
は、

がが
がが

えー?
まだ戦うの?

もうやめた方がいいよ。

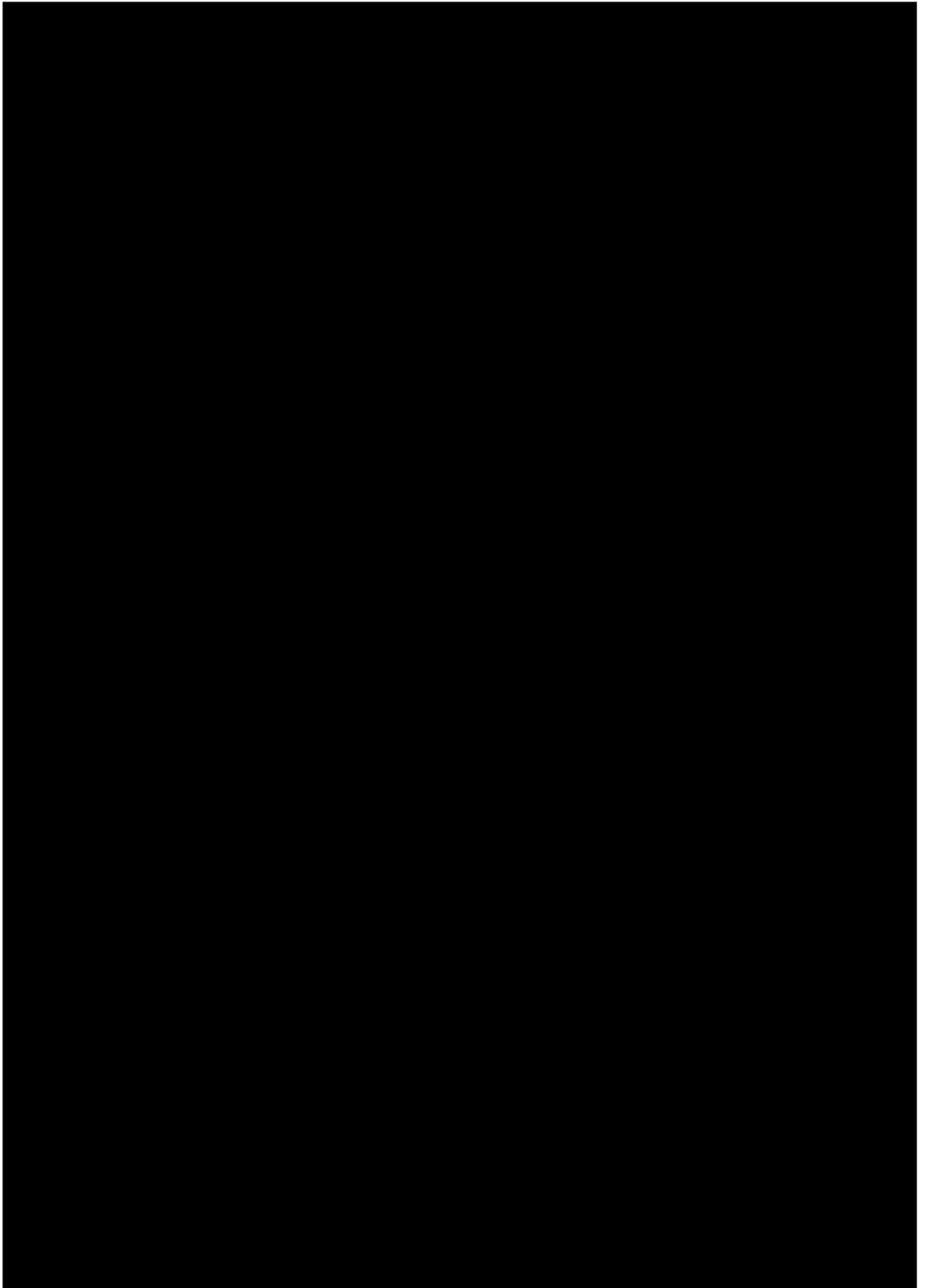
手加減はしたけど
骨も折れてるだらうし...

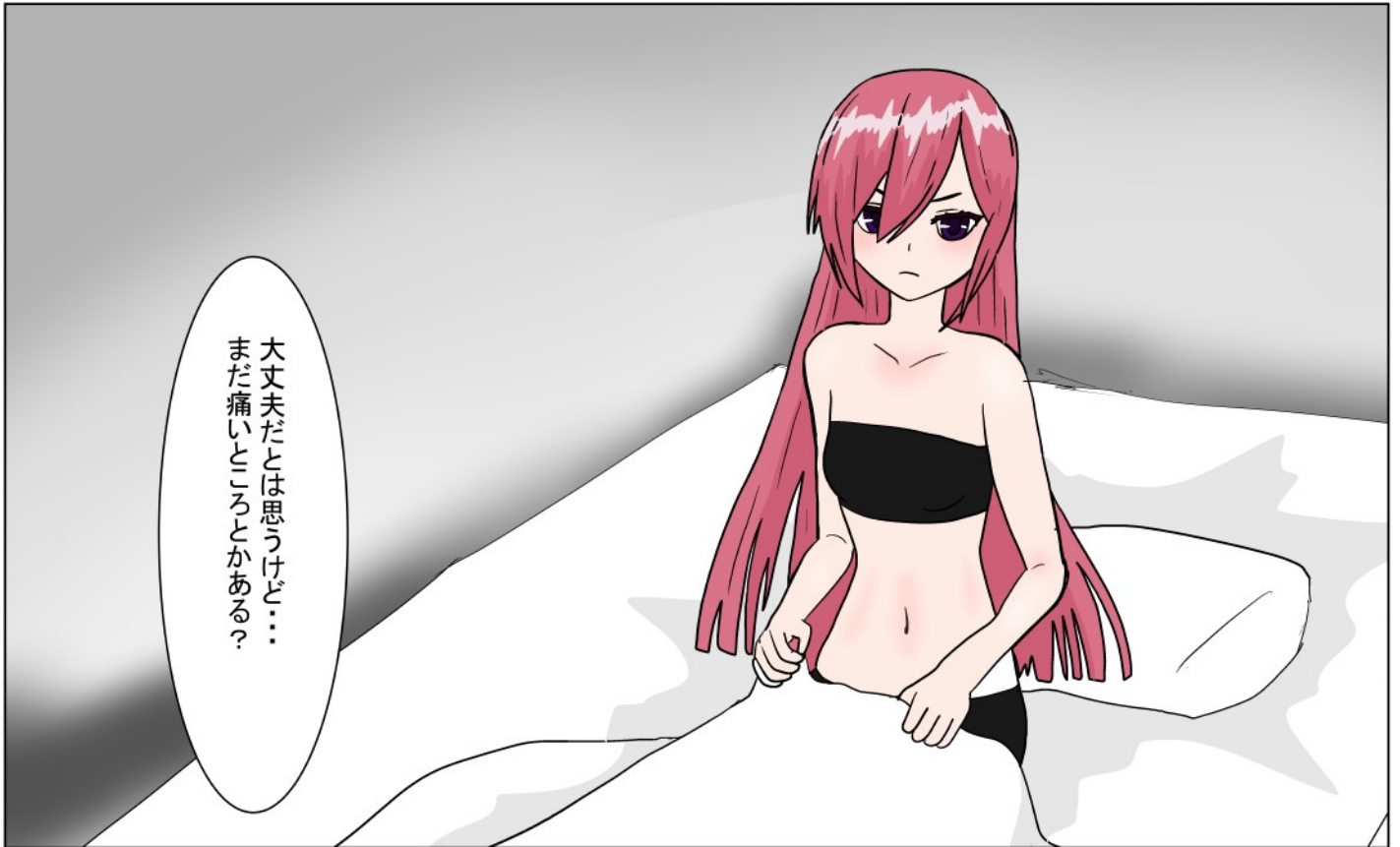
わ...
私は...

ぐ...
う...
う...

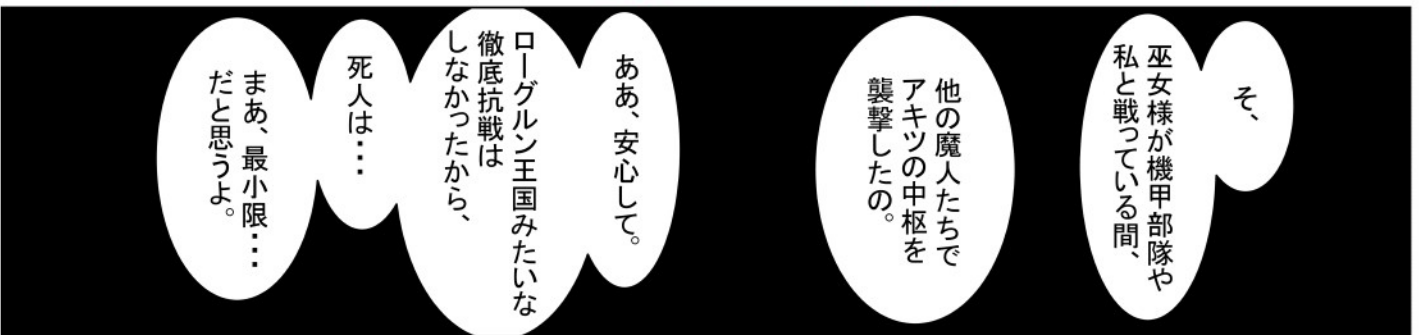
まだ...

は、
は、







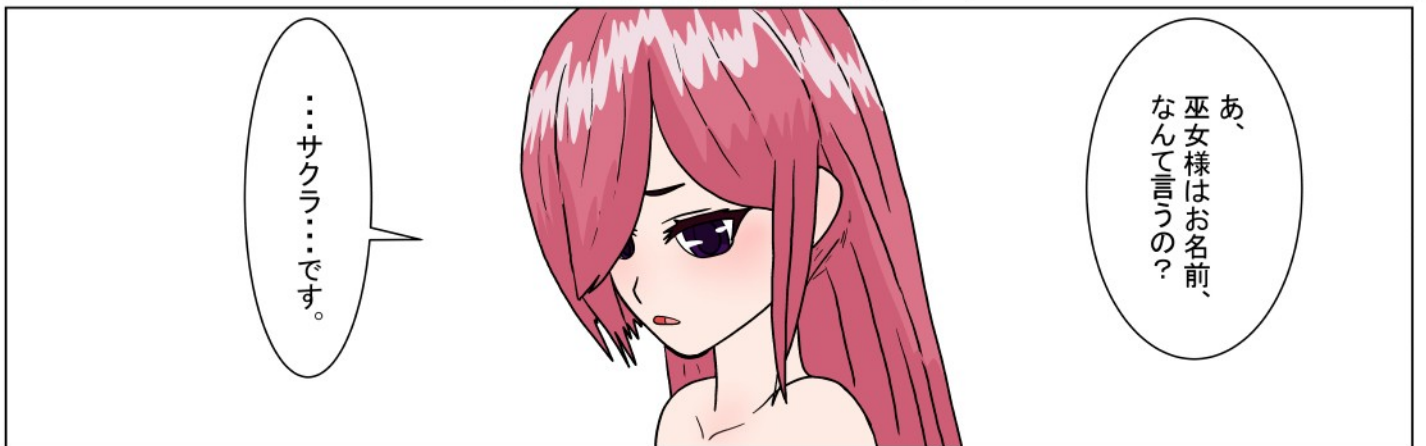






大丈夫大丈夫、
魔王様ってば、
女の子にはダダ甘だから！

いっよー
しちゃうしちゃう。
いっぱい口添えしちゃう。



…サクラ…です。

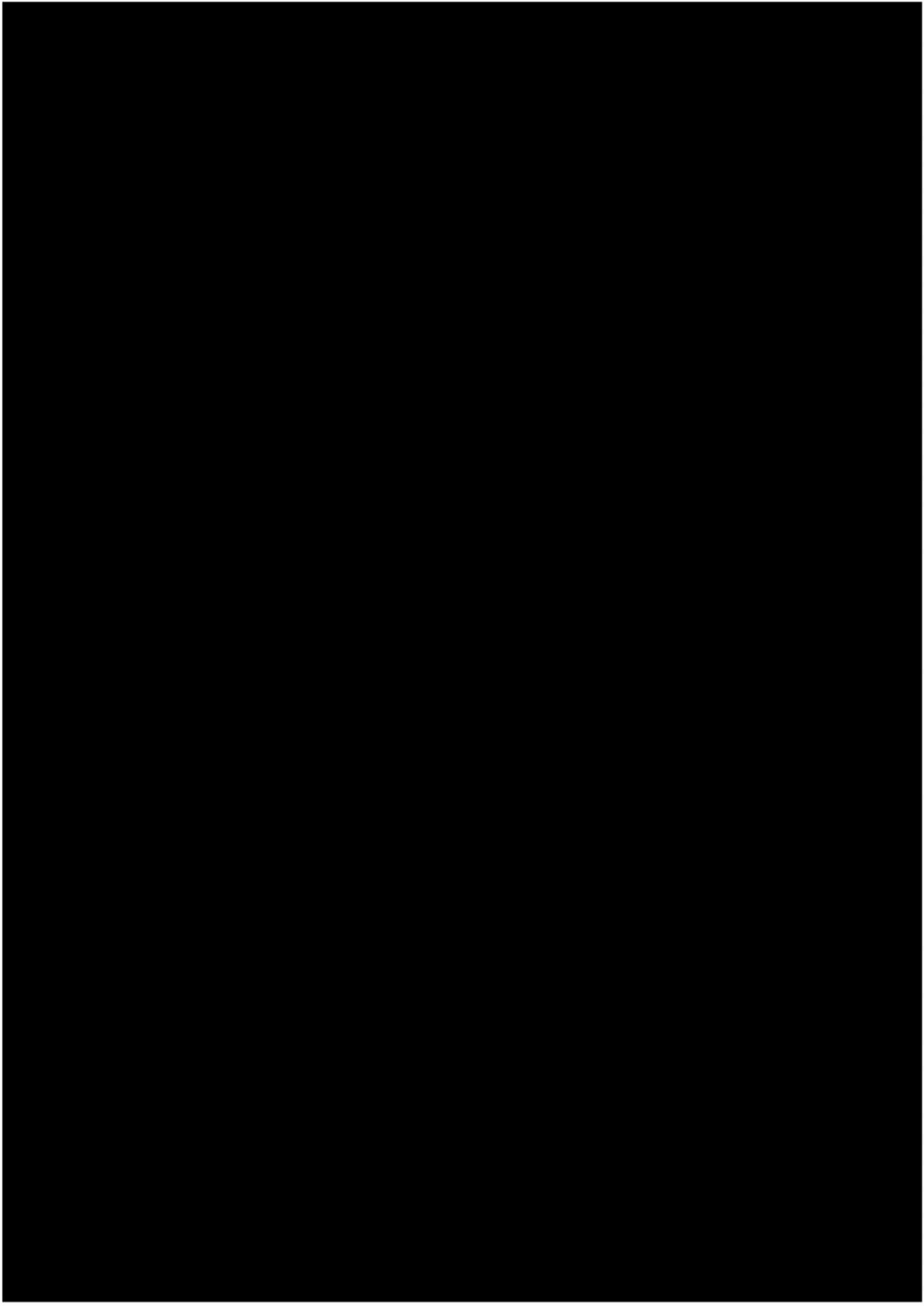
あ、
巫女様はお名前、
なんて言うの？



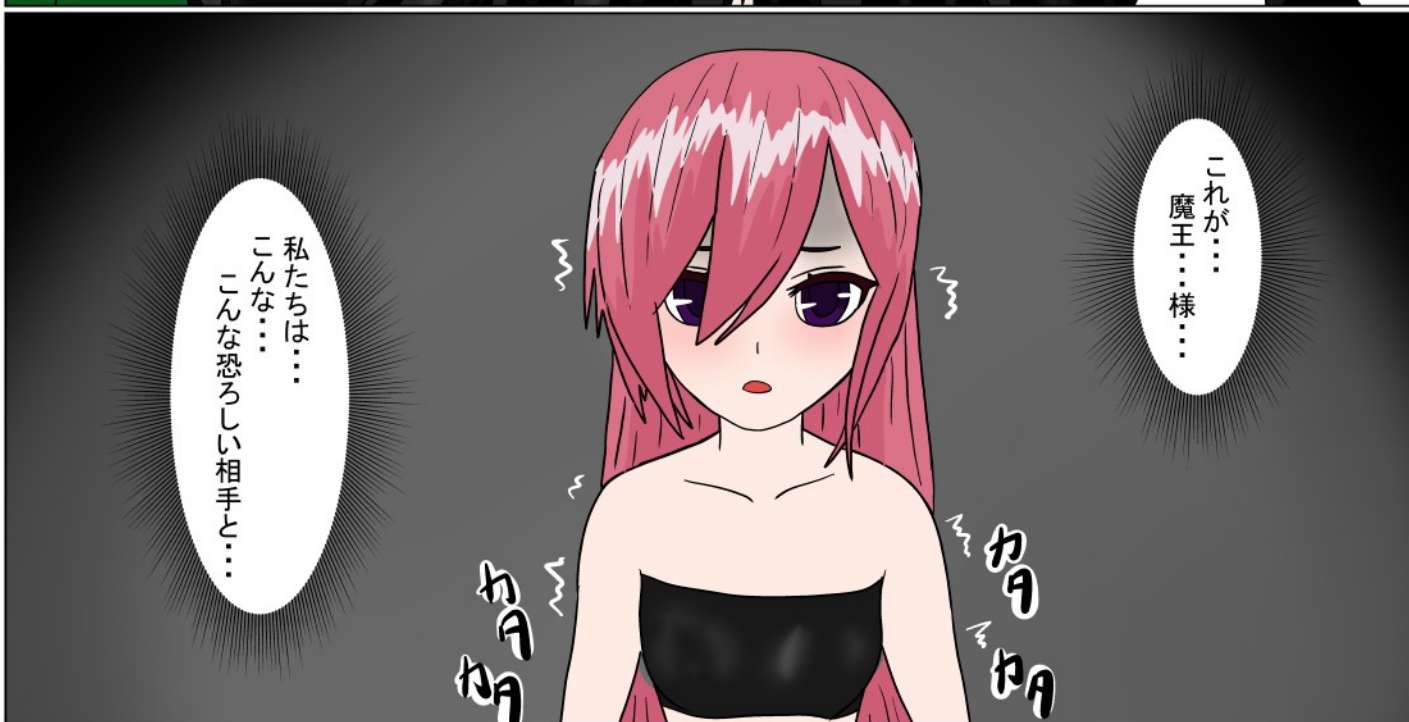
心配しないでいいよ。
悪いようにはしないからさ。

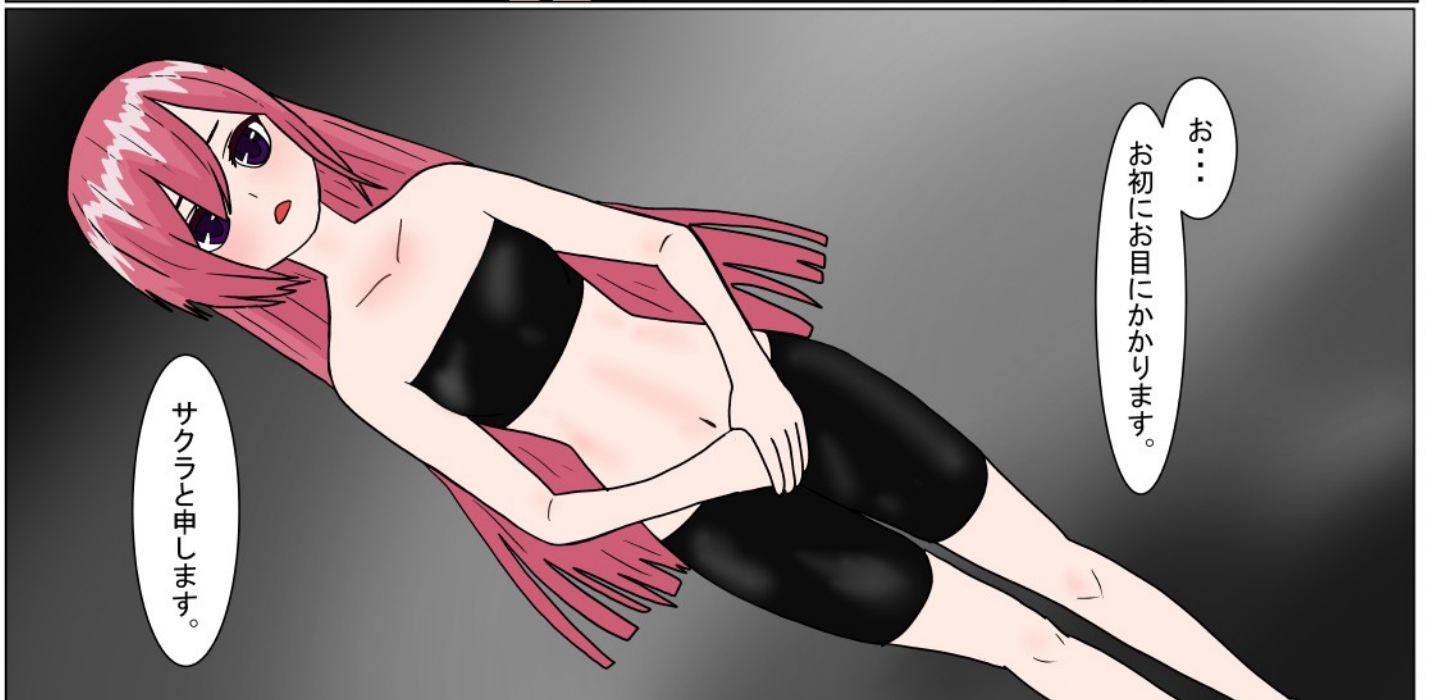
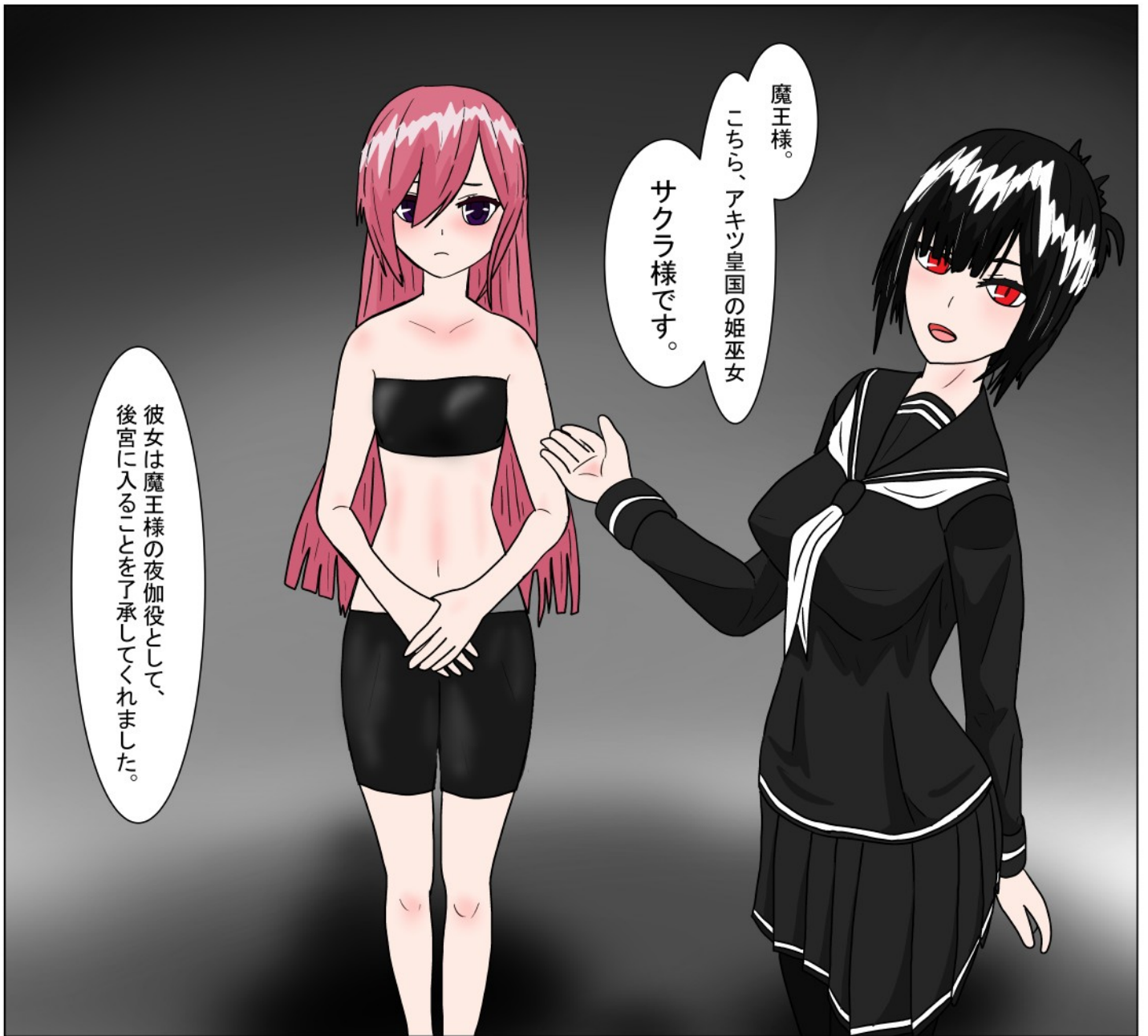
サクラちゃんか
きれいな名前だね。

サワ サワ



冬の宮殿
黒天玉座

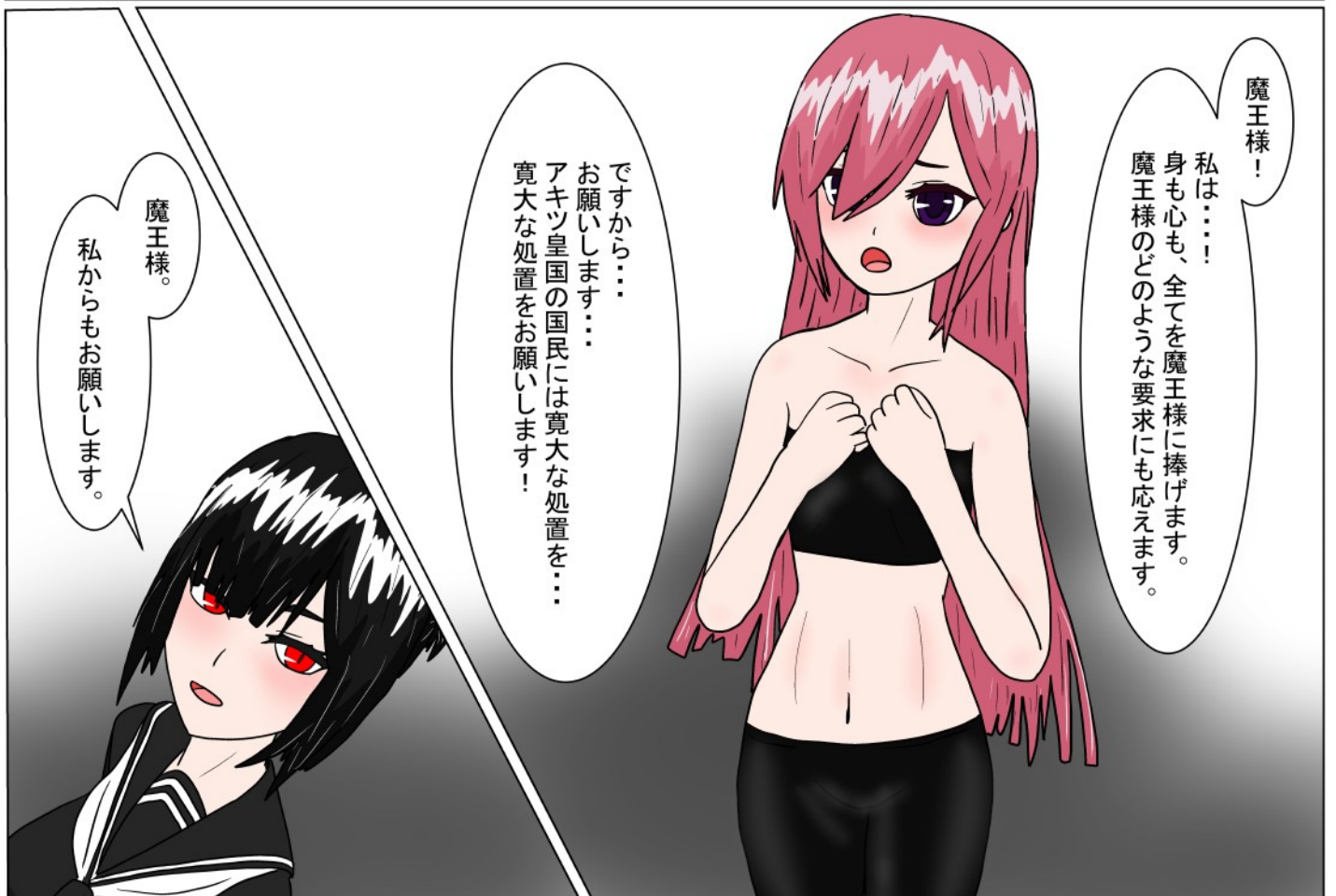






え？
うちに来てくれるの？
そりやまたあつさりど…

ええ、それで…



魔王様！

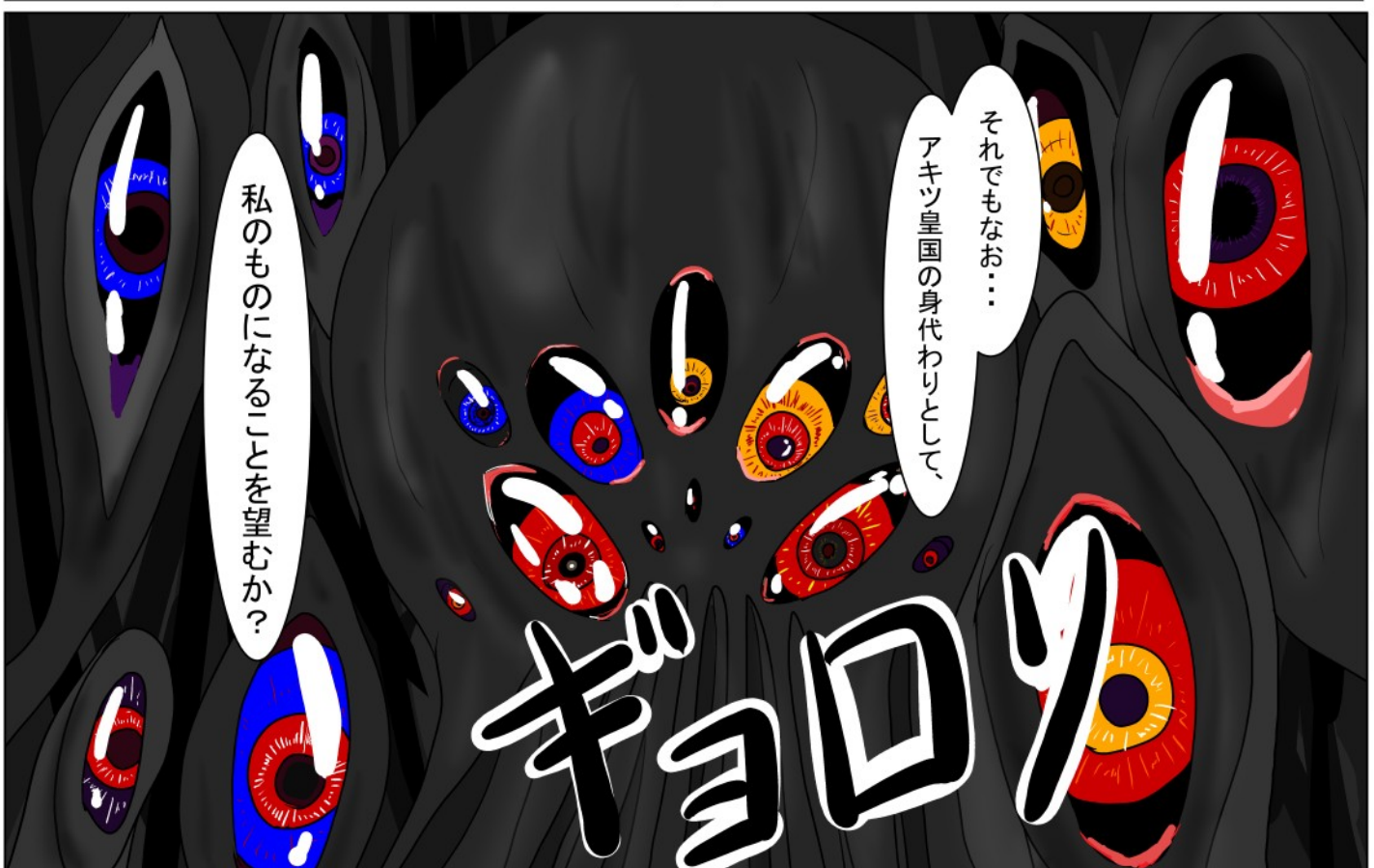
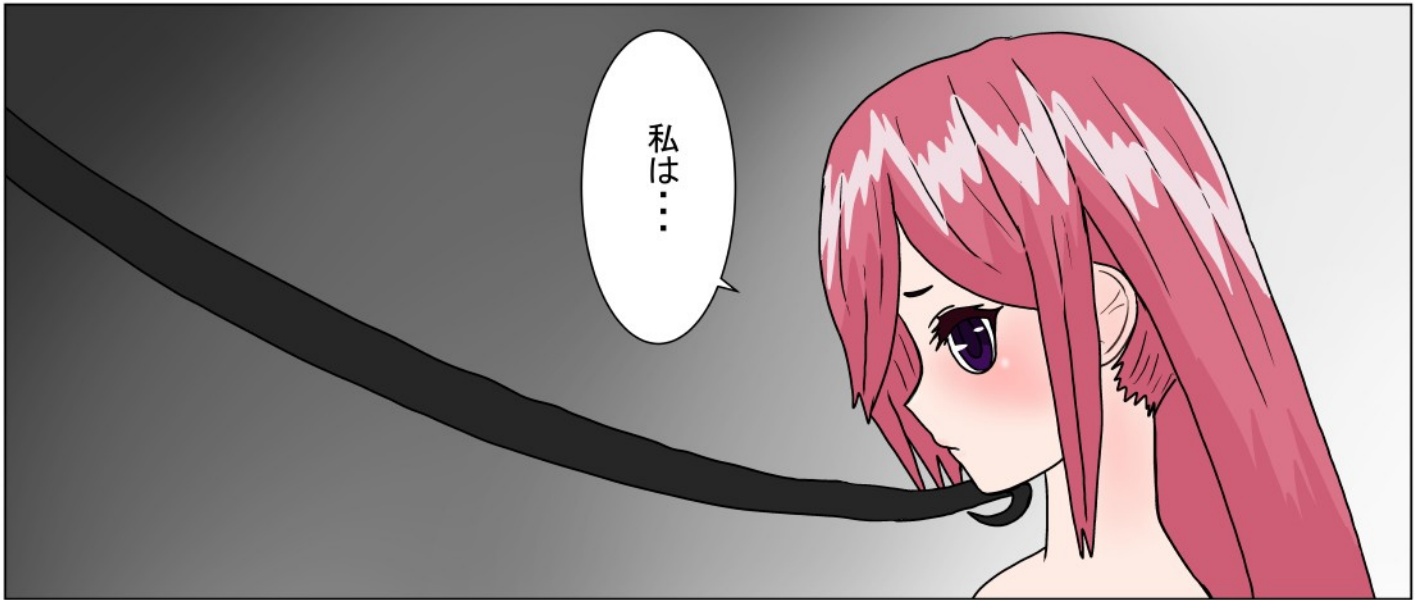
私は…！！
身も心も、全てを魔王様に捧げます。
魔王様のどのような要求にも応えます。

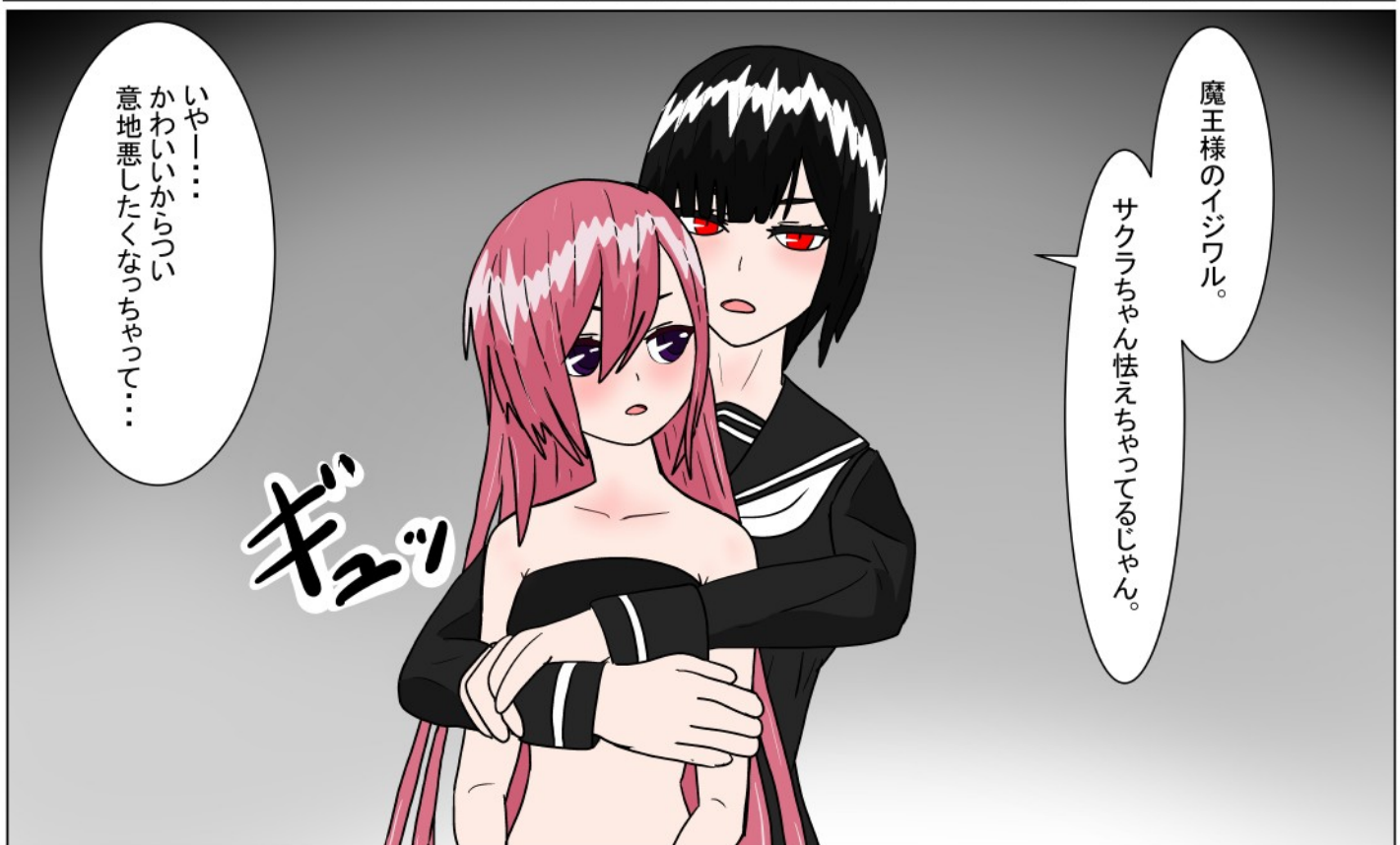
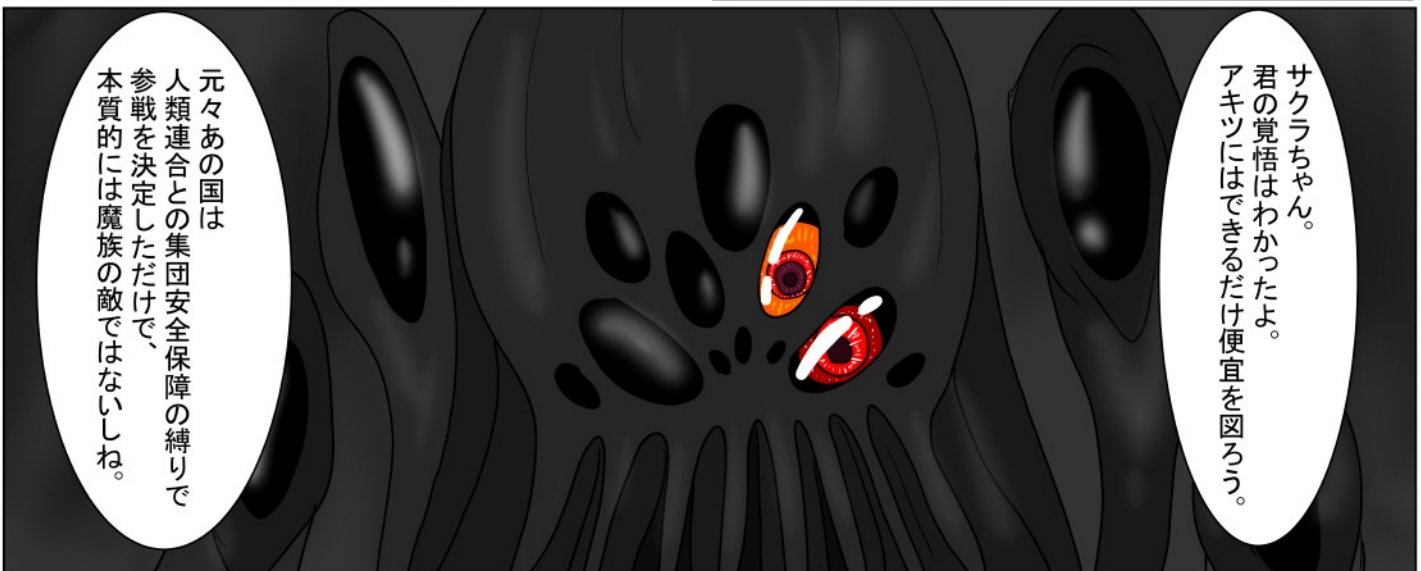
ですから…
お願いします…
アキツ皇国の国民には寛大な処置を…
寛大な処置をお願いします！

魔王様。

私からもお願いします。









魔王様はたまにこういっ
いじわるするけど、
本当はどつても優しいから。
怖いことにはならないよ。

ごめんね、サクラちゃん。

ふんっ



痛いこととか
苦しいことほしなさいよ。
エッチなことはしてもらうけど。



ひどいことは...
しないでくださいか？

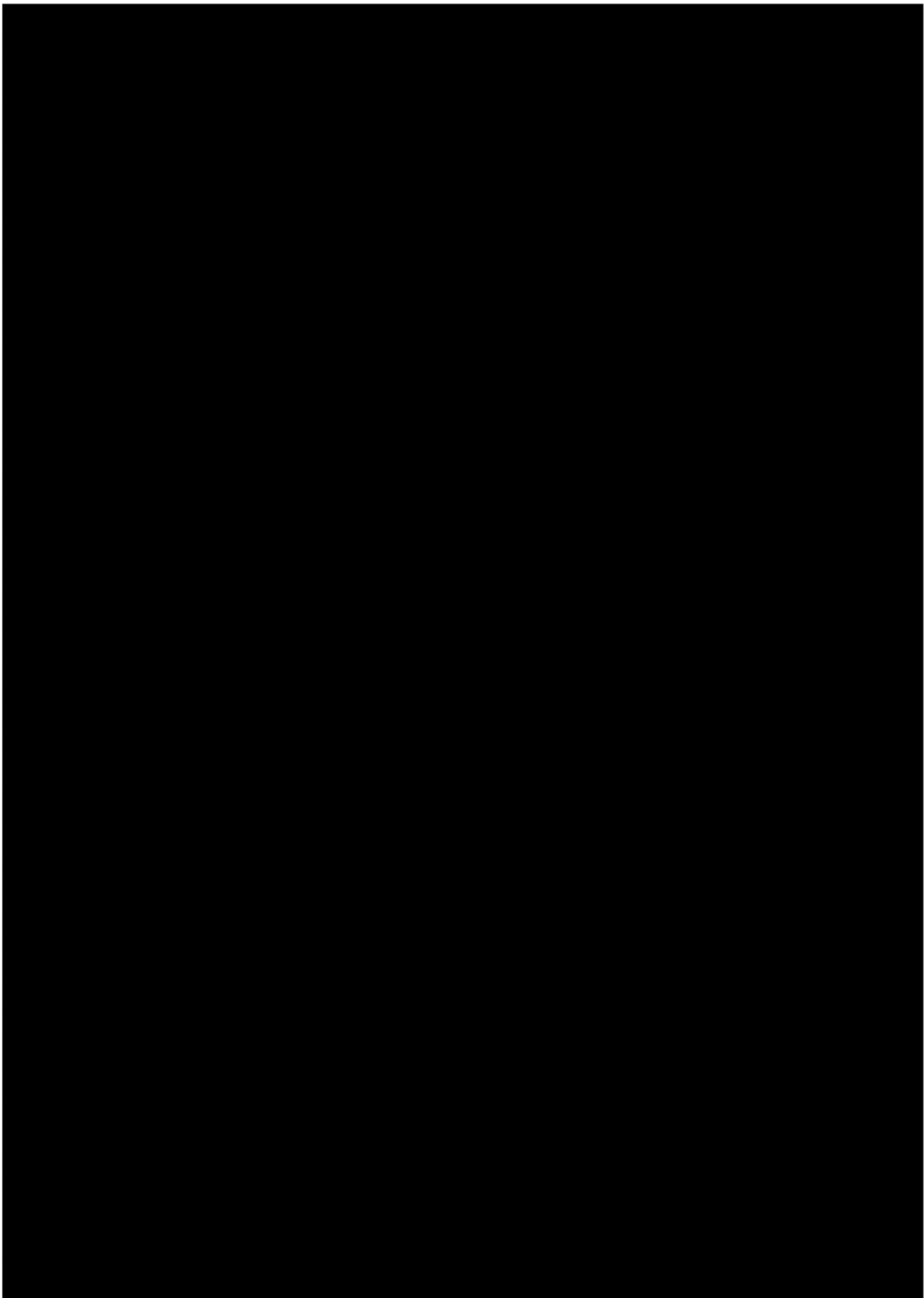


怖がらせてごめんね？

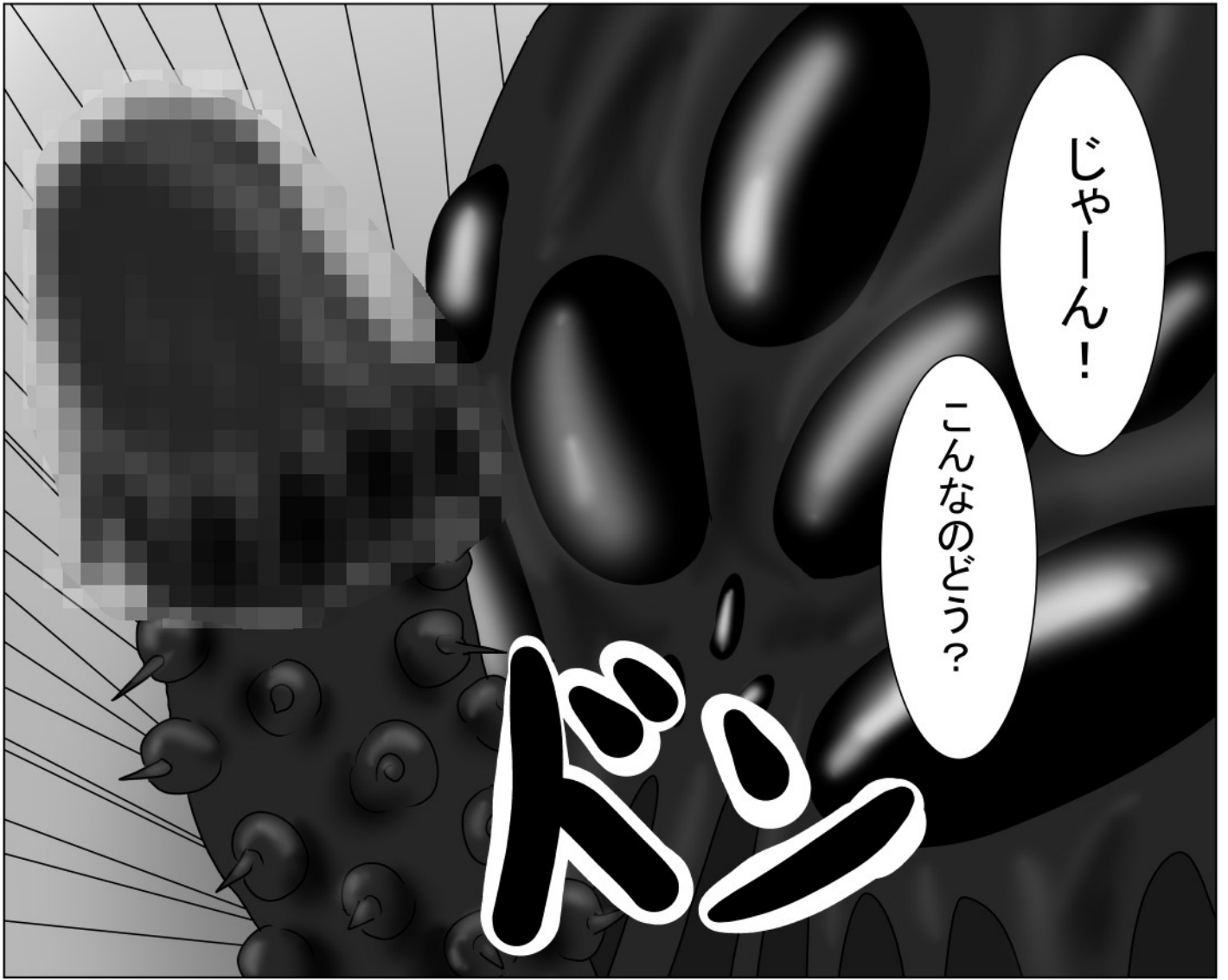


え...
えっちなこと...ですか...
///

んー？
へえ、サクラちゃん結構むっつりだね。
これは楽しくなりそう。







じゃーん！

こんなのぶっ？

ぶ



ぶ

















それが「気持ちいい」だよ。
恥ずかしがらないで。
いっぱい感じていいんだよ。



なんか…
なんか変に…
変になってくる…!!



…あ!!

ふふ、
気付いた？
ちよっと大きくなってきたでしょ？
もうちよっとだよ。



お疲れ様、サクラちゃん。
よく頑張ったね。

初めてでちゃんとイケるなんて
才能あるよ。

魔王様との相性がいいのかな？

はっ

はっ

はあ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

びり びり

びり

びり

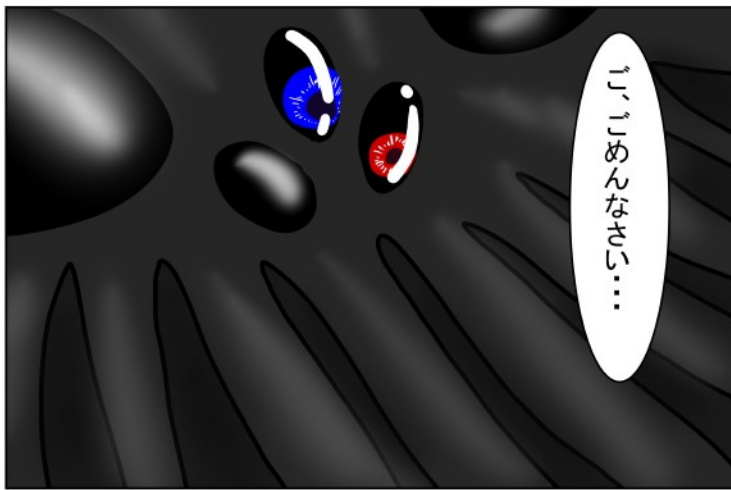
びり びり

ズロ...
トロ...



サクラちゃん
すっごくいいなあ…

早速、
もう一回戦行こうか。



ご、ごめんなさい…



魔王様。
初めての子を相手に
あんまり無茶しちゃダメですよ。



はい。

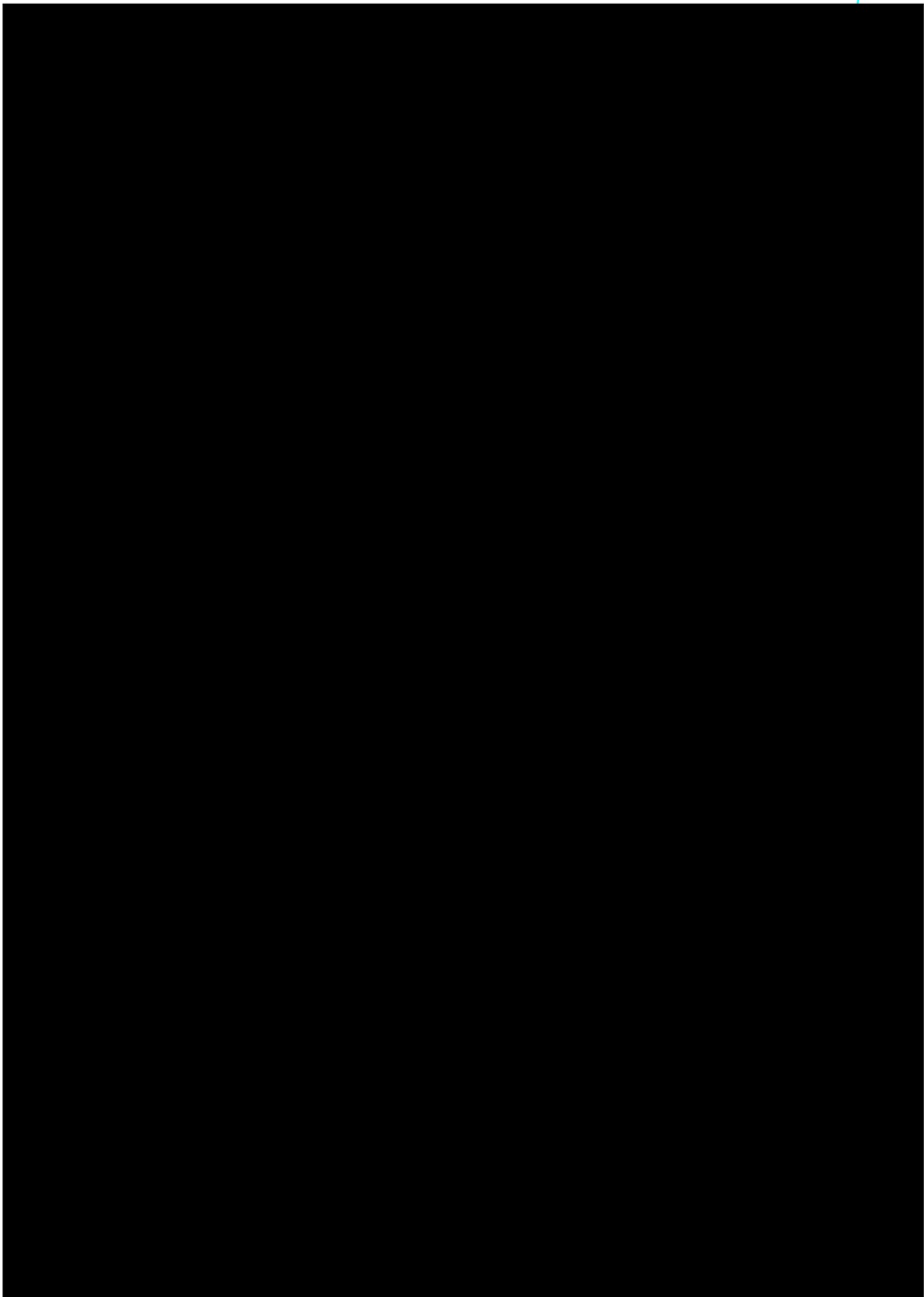
イタズラしちゃダメですよ？



そ、そうだね…
じゃあ今日はもう寝ようか。

ちゃんと休ませてあげないと
嫌われちゃいますよ。





数日後…

なんだかいつぱい眠ってしまった…

おなかの奥にまだ何か…

サクラ様、お目覚めですか？

サス
サス

新しいお洋服をご用意しました。

魔王様と黄泉姫様がお待ちですよ。

スッ…





今度は私も一緒に
お願いしますね

えへへ

服着たままだからいいんだよ!

ふ、服着たままでいいんですか?

サウ

サウ

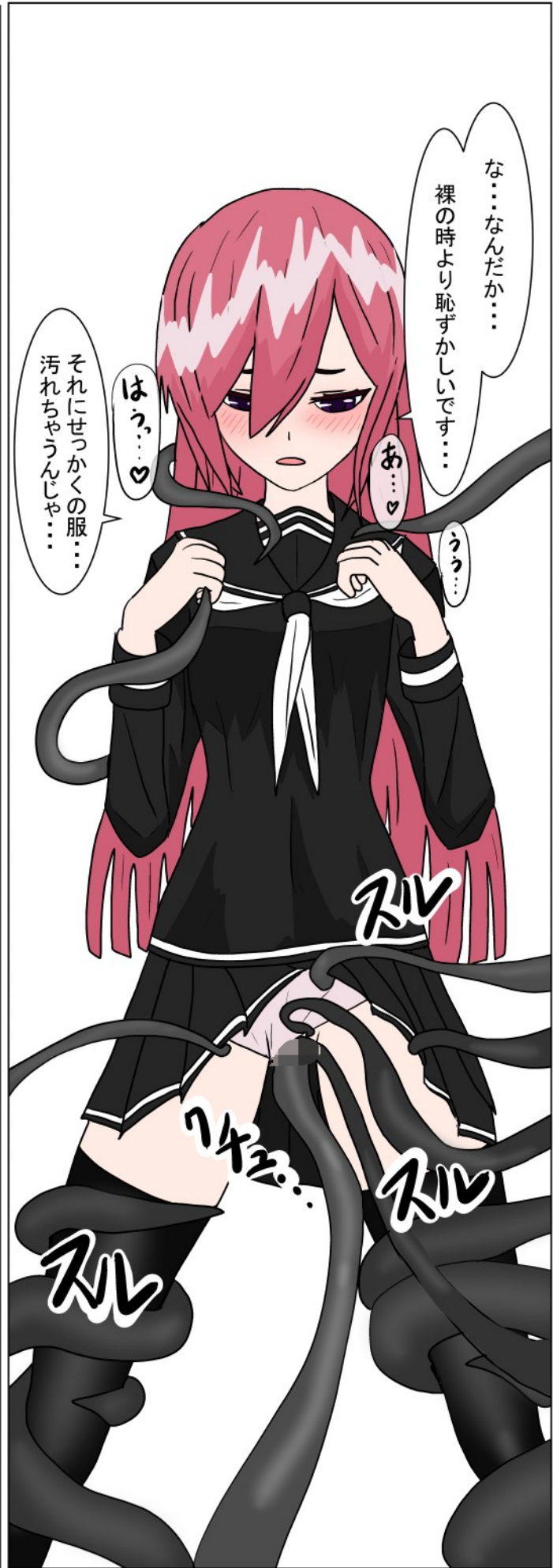
サウ

サウ

道

道

道





魔王様...

お尻に...

お尻に全部、入れてください...!!

はっ♡

はっ♡

あっ♡

あっ♡

私の中、
いっぱい入れてください...

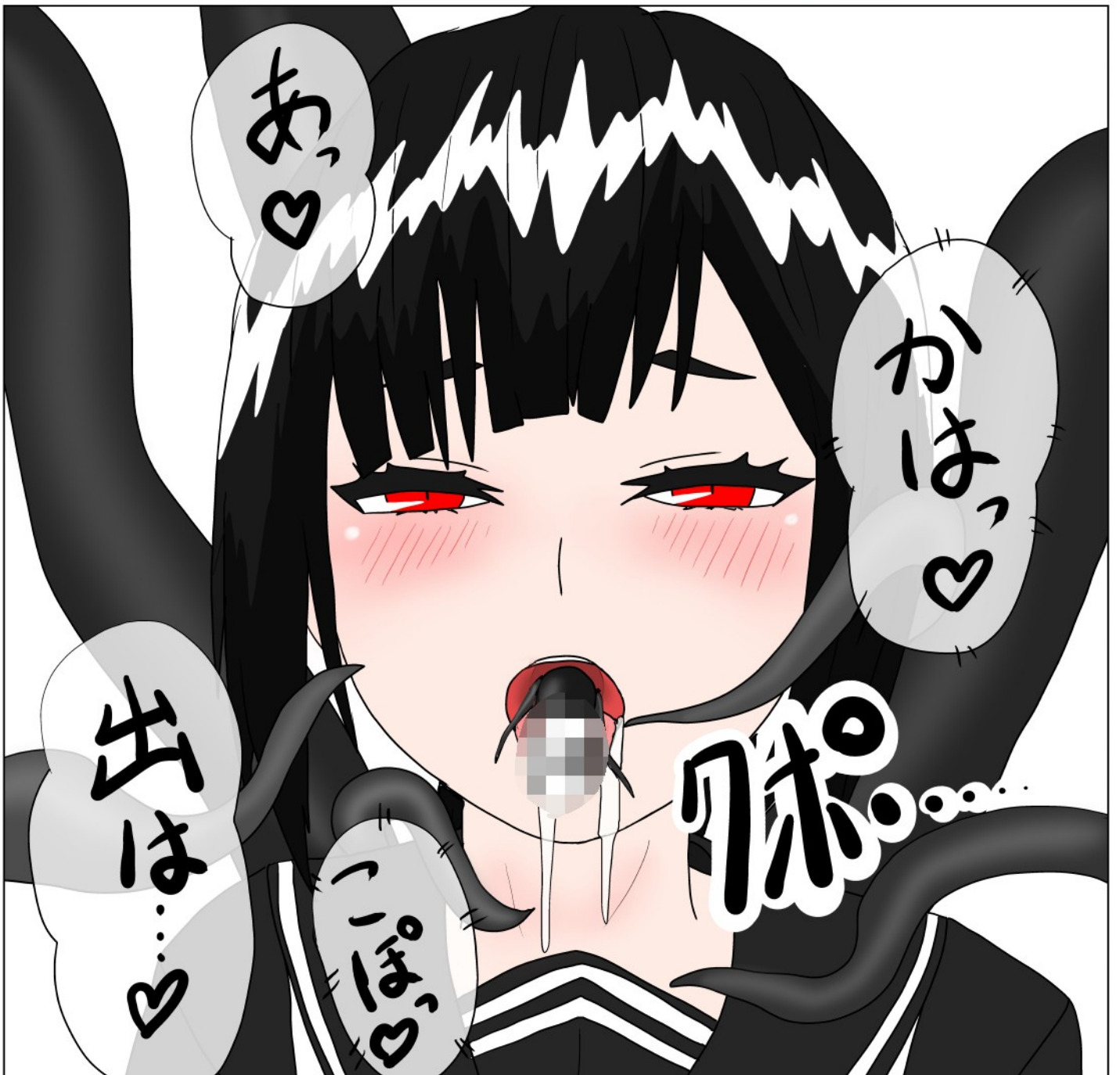
んん

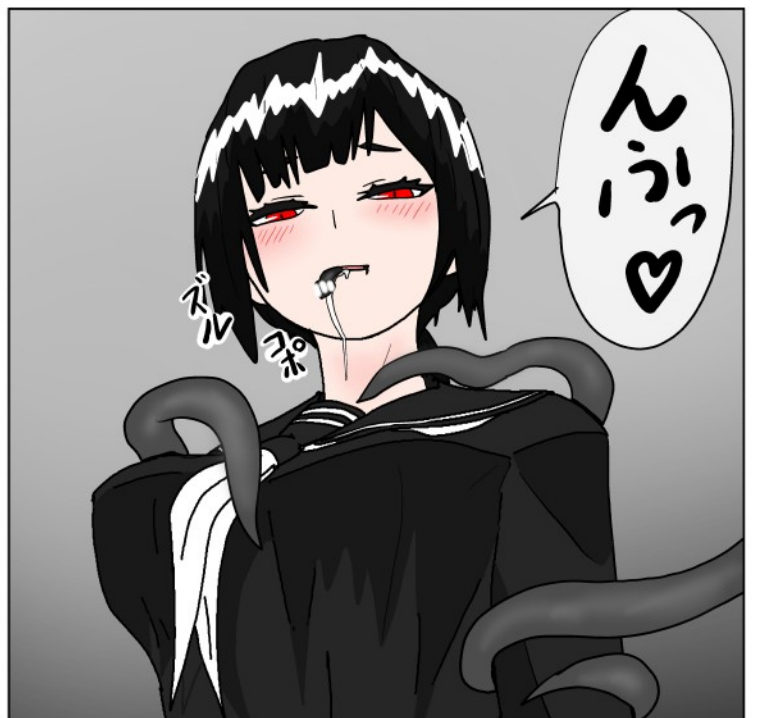
んん

んん

んん

んん







はっ♡

ご馳走様♡
サクラちゃんのお口、
とっても美味しかったよ。

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

アッ...

はっ♡

はっ♡

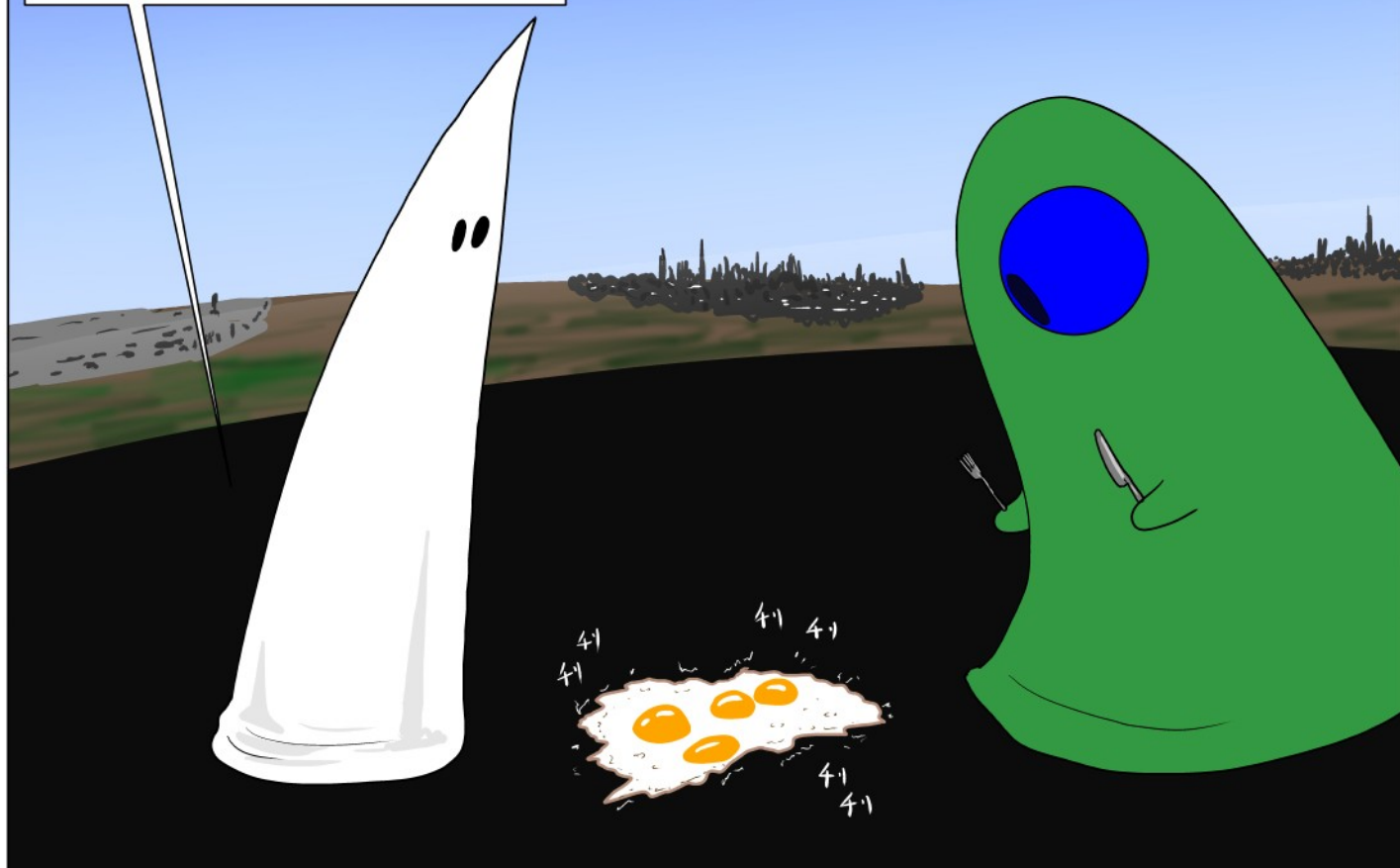
はっ♡

はっ♡

数週間後

魔道帝国の帝都は、本格的な夏季を迎えていた……

魔導帝国本営「冬の宮殿」の外壁は、
黒色超高硬度セラミックスで覆われており、
広大な屋上は太陽に炙られ、
表面は目玉焼きが作れる程の温度になる。





ピース♡

魔王様！

見て見て〜！
夏服だよ〜
いいでしょ？

水浴びしよ〜！
洗ってあげるよ〜

ふあふああいかいあいいい!!



ああ〜気持ちいい…

あ、サクラちゃん、
そこもう少し強くてもいいかも。

はい。

目と肌の継ぎ目の部分、
擦ってね。

はいはい、
ほかにも痒いと「あったら」言ってくさいね

キュッ
キュッ
キュッ

キュッ
キュッ
キュッ

パッパッ
パッパッ







バツ

ヌギ

ヌギ

わ、私も…
水着…です♡

はい、
魔王様の大好きな水着ですよ

これでいっぱいHしましょうね♡

ズ
ズ
ズ





あん♡
ガツキすぎですよ

ググ

スリ

スリ

ググ

ググ

あっ♡

あっ♡

あっ...
そんな...
いきなり...!

スリ

スリ

ググ

ググ

ググ

ググ



黄泉様でも
こんな顔するんだ...

ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

かわいい♡

うっく

んんん♡
んんん♡
んんん♡

んんん♡
んんん♡

んんん♡
んんん♡
んんん♡

んんん♡
んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡





たっぷり仕返しさせてもらってから、
覚悟してね？

あ、



そうですね、魔王様。
次はサクラちゃんを、
たっぷりいじってあげましょうか...

ふうっ♡
ふうっ♡
ふうっ♡

ニコ...



ちゅく

ちゅく

どん

ぎゅ

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

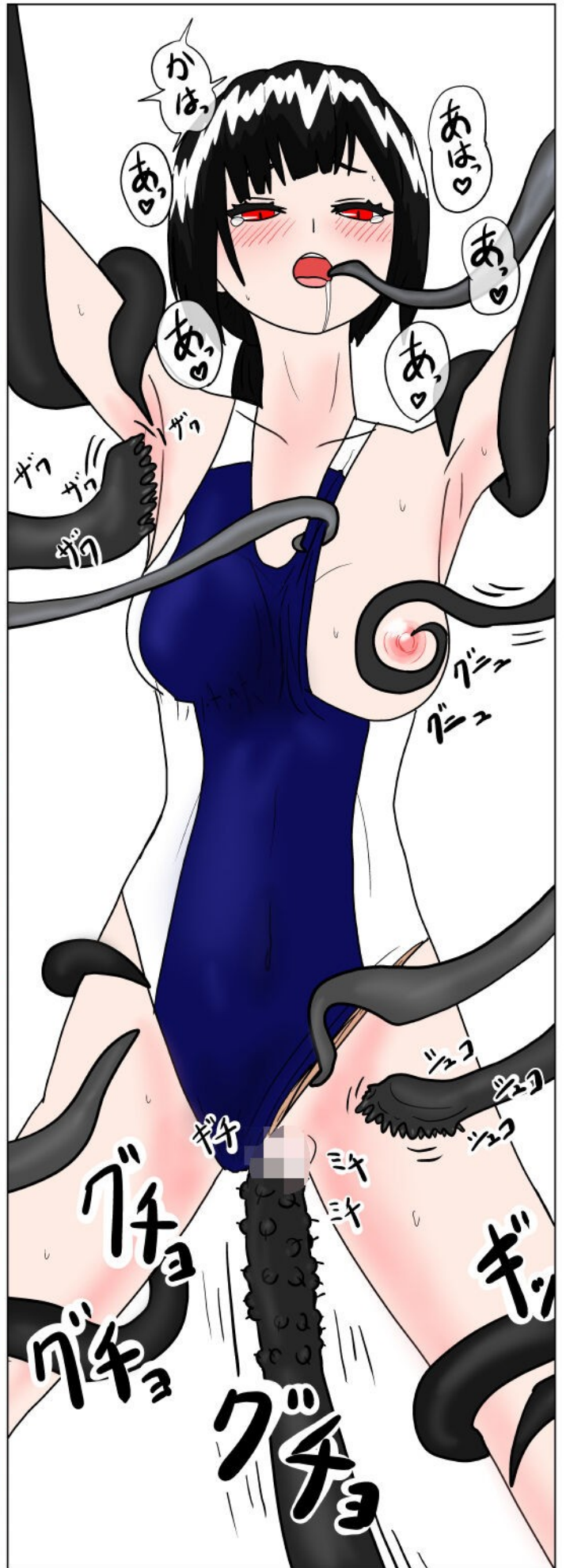
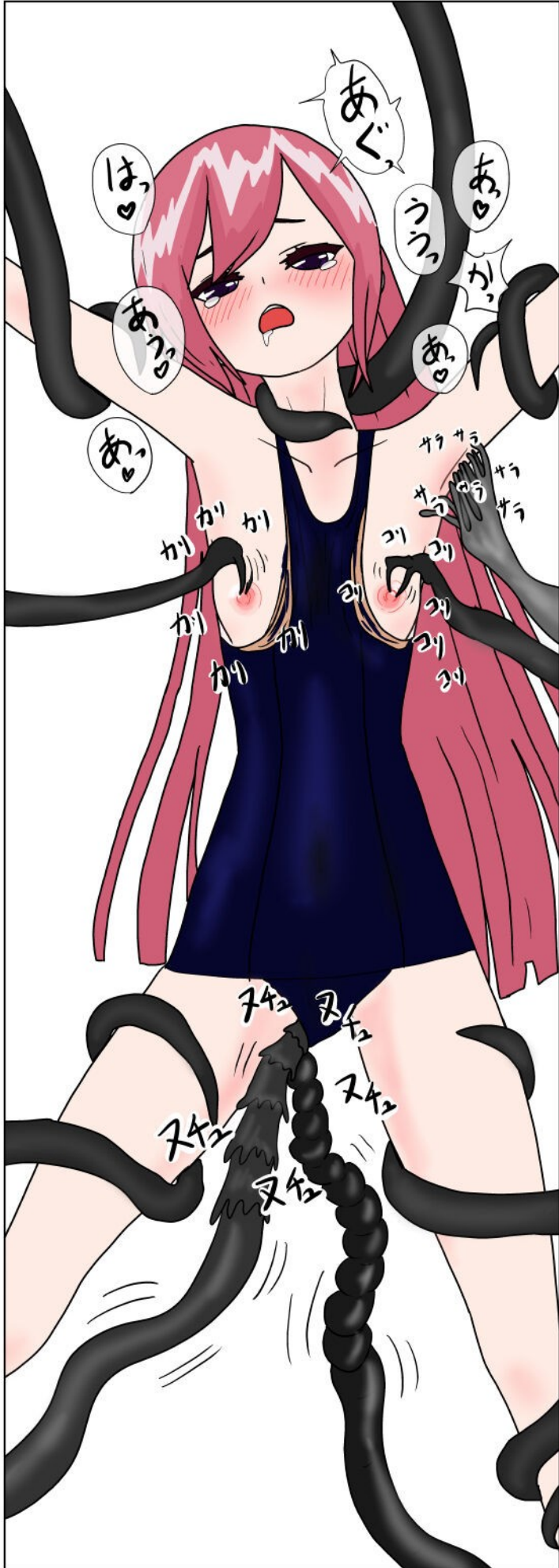
ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

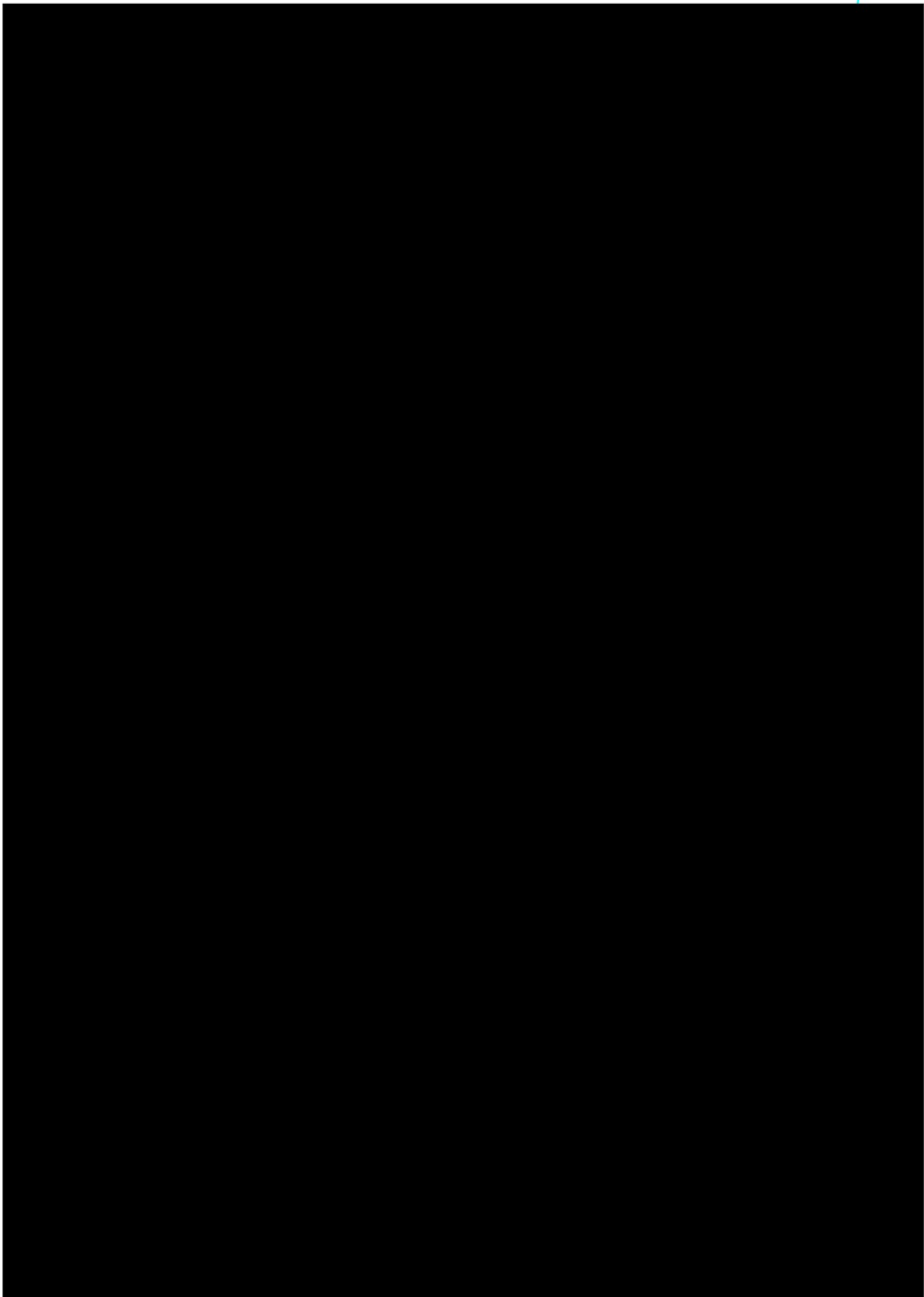
ちゅ♡

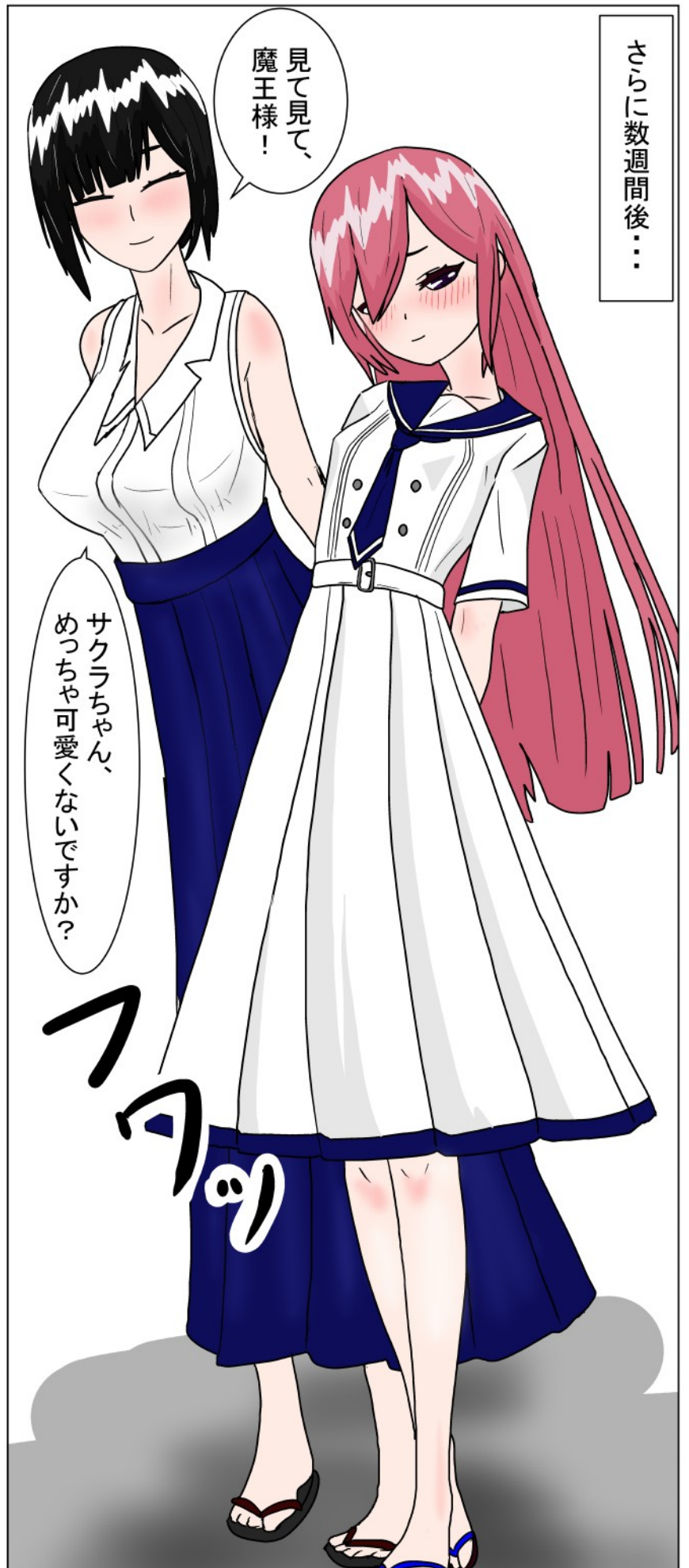


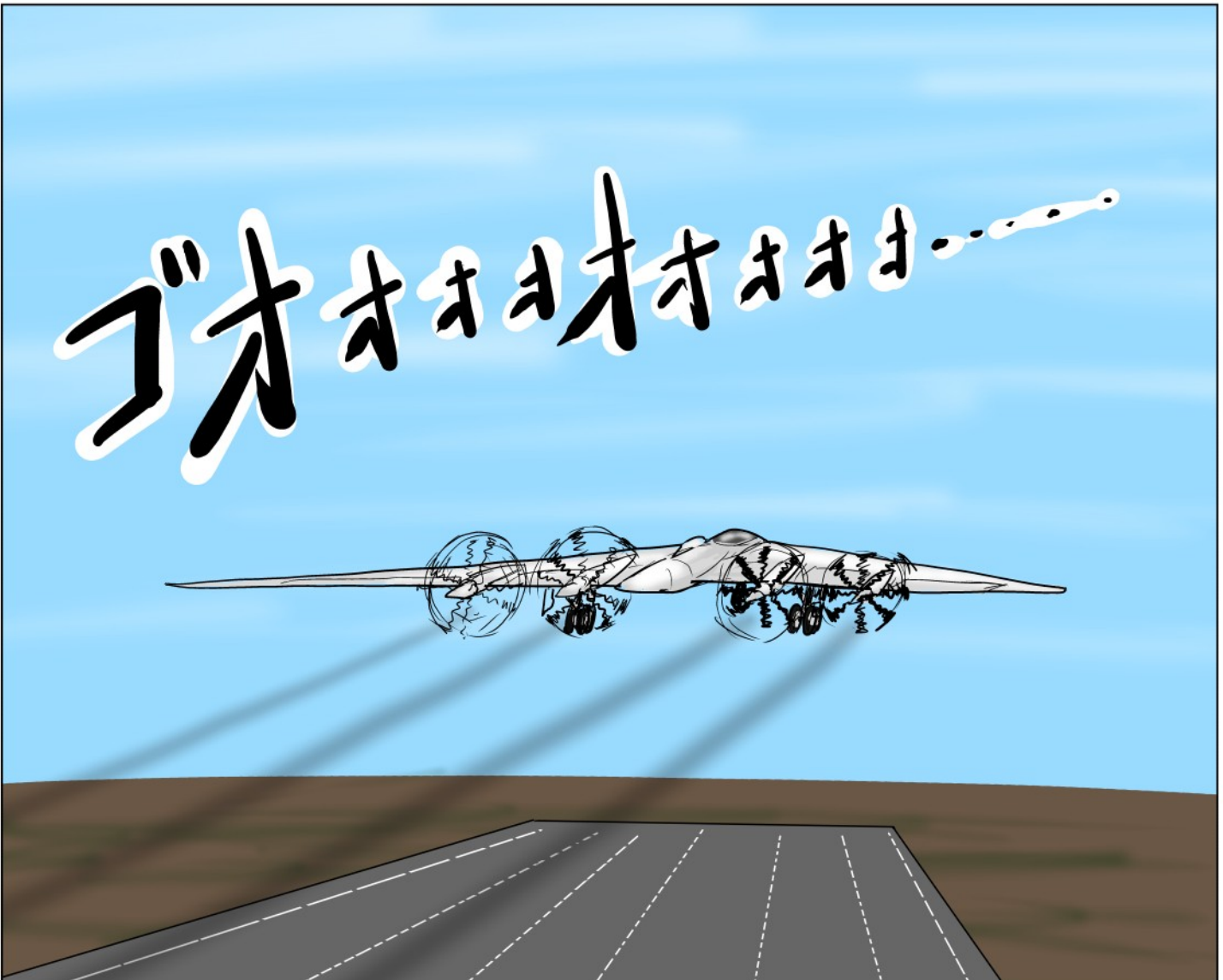
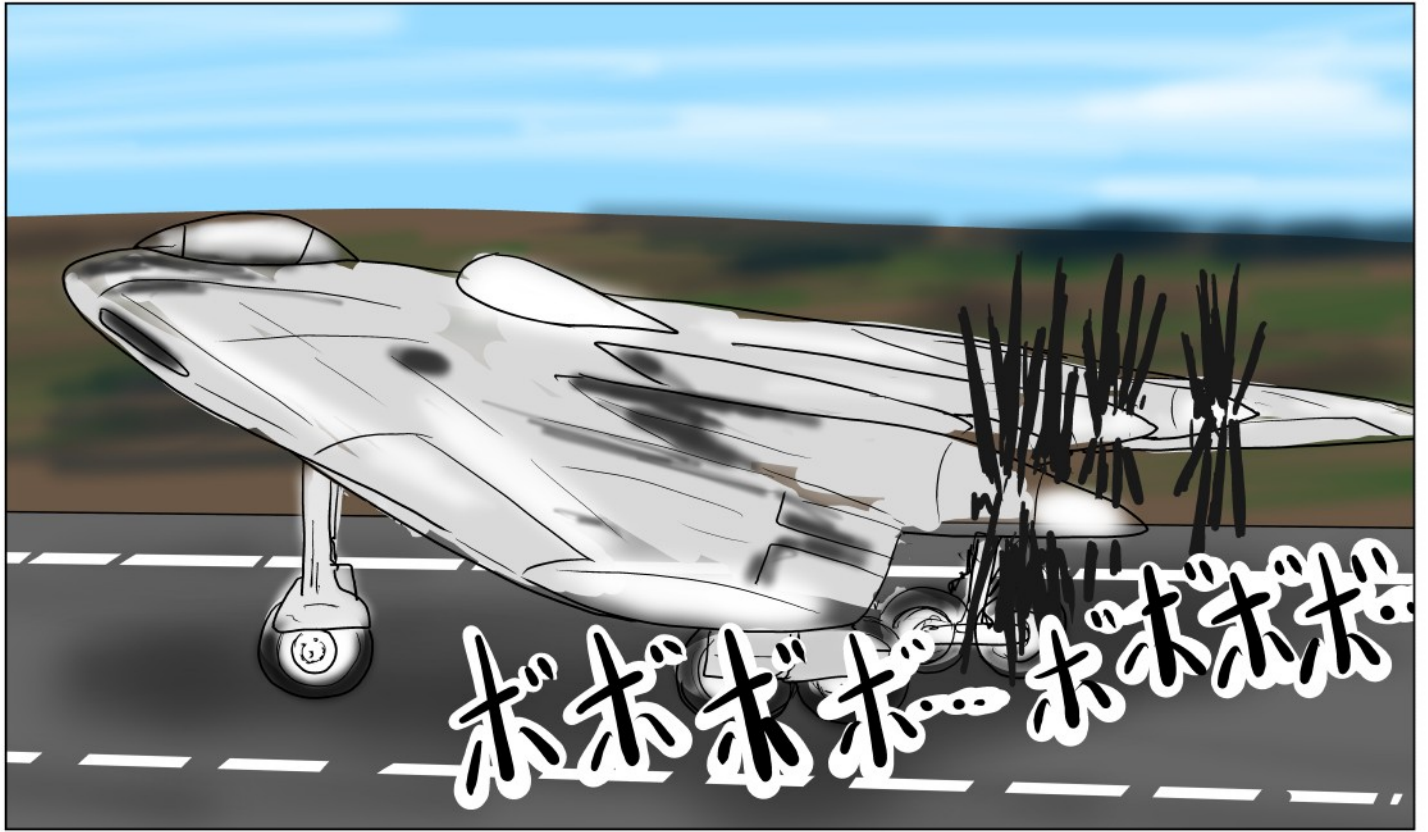
今日は水浴びもHも、
すごく楽しかったよ。

ゆっくり休んでね。









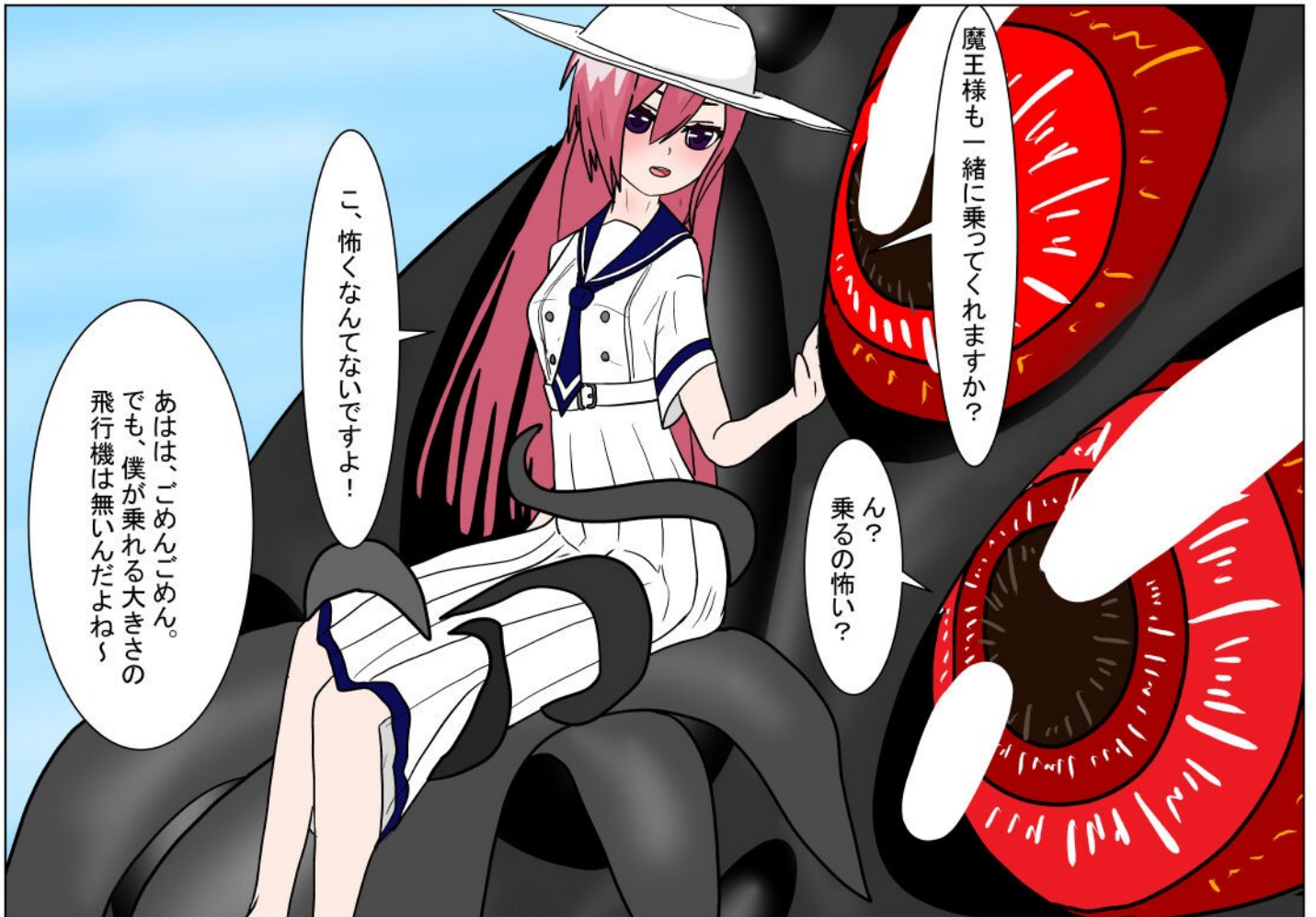


あれって金属製なんですよね？

あんな大きなものが飛ぶなんて、
今でも信じられないです。

金属とはいつてもアルミだからね、
あの大きさでも飛竜と同じくらいの
重さなんだよ。

今度乗ってみる？

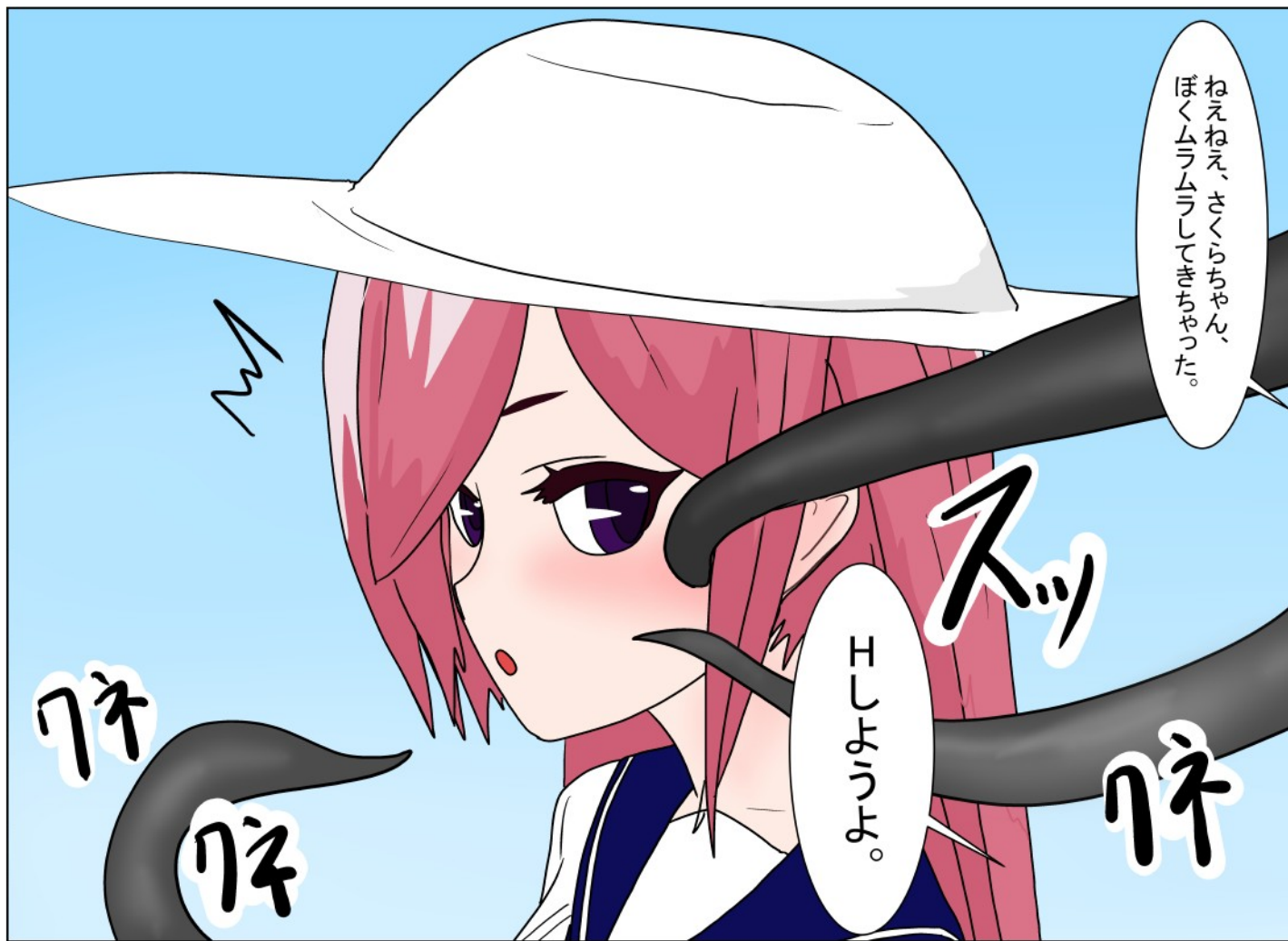


魔王様も一緒に乗ってくれますか？

ん？
乗るの怖い？

こ、怖くなんてないですよ！

あはは、ごめんごめん。
でも、僕が乗れる大きさの
飛行機は無いんだよね。



ねえねえ、さくらちゃん、
ぼくムラムムしてきちゃった。

スッ

エエエエエ。

ワッ

ワッ

ワッ



いいんですけど…
外はだめですよ。

ちゃんと部屋に戻ってからです。

しん
しん

カ

よし、じゃあ戻ろう！
今すぐ！



ぐわっ!!

あゝ♡

ま、魔王様!

まっし!!

ぐわっ!!

めくり

ぐわ

ぐわ

ぐわ

がつつきすぎです!
落ち着いてください!



だ、ダメですよ!
せめて服を脱いでから!

服汚したら、
黄泉様に怒られてしまいます!

ぐわ

ぐわ

ぐわ

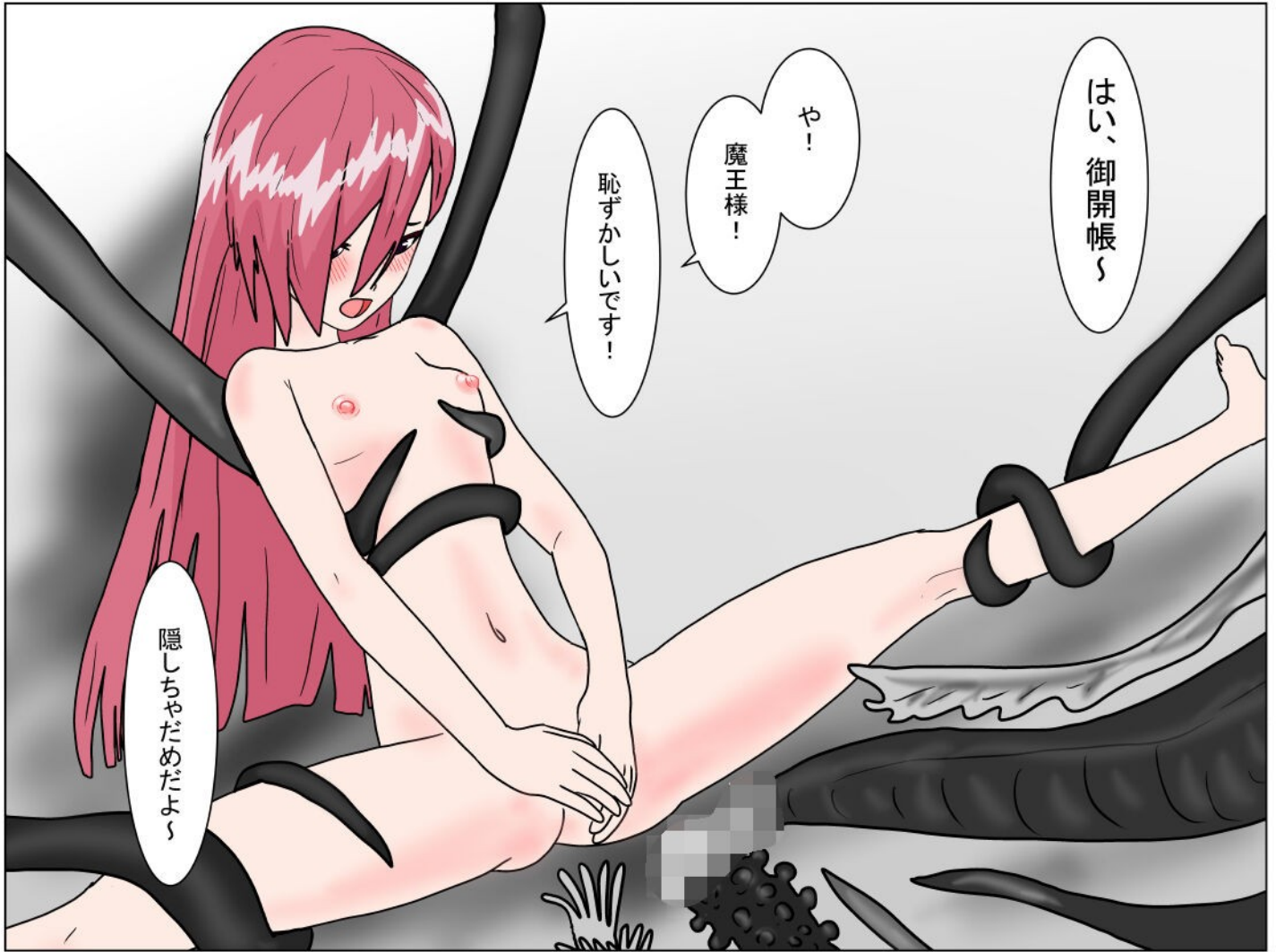
ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ







気持ちよかった？

はい。
とっても気持ちよかったです…

キュッ
キュッ



魔王様…♡

えへ…

次は私が…

してあげますね♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡





頑張ってくれたご褒美に、
たくさんいじってあげるね。

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ああ...

グパ

ギキッ

グイ

ズラッ



トス...

今日は楽しかったね。

はあ、♡

はあ...♡

キュッ♡

はあ、♡

はあ、♡

.....

魔王様...

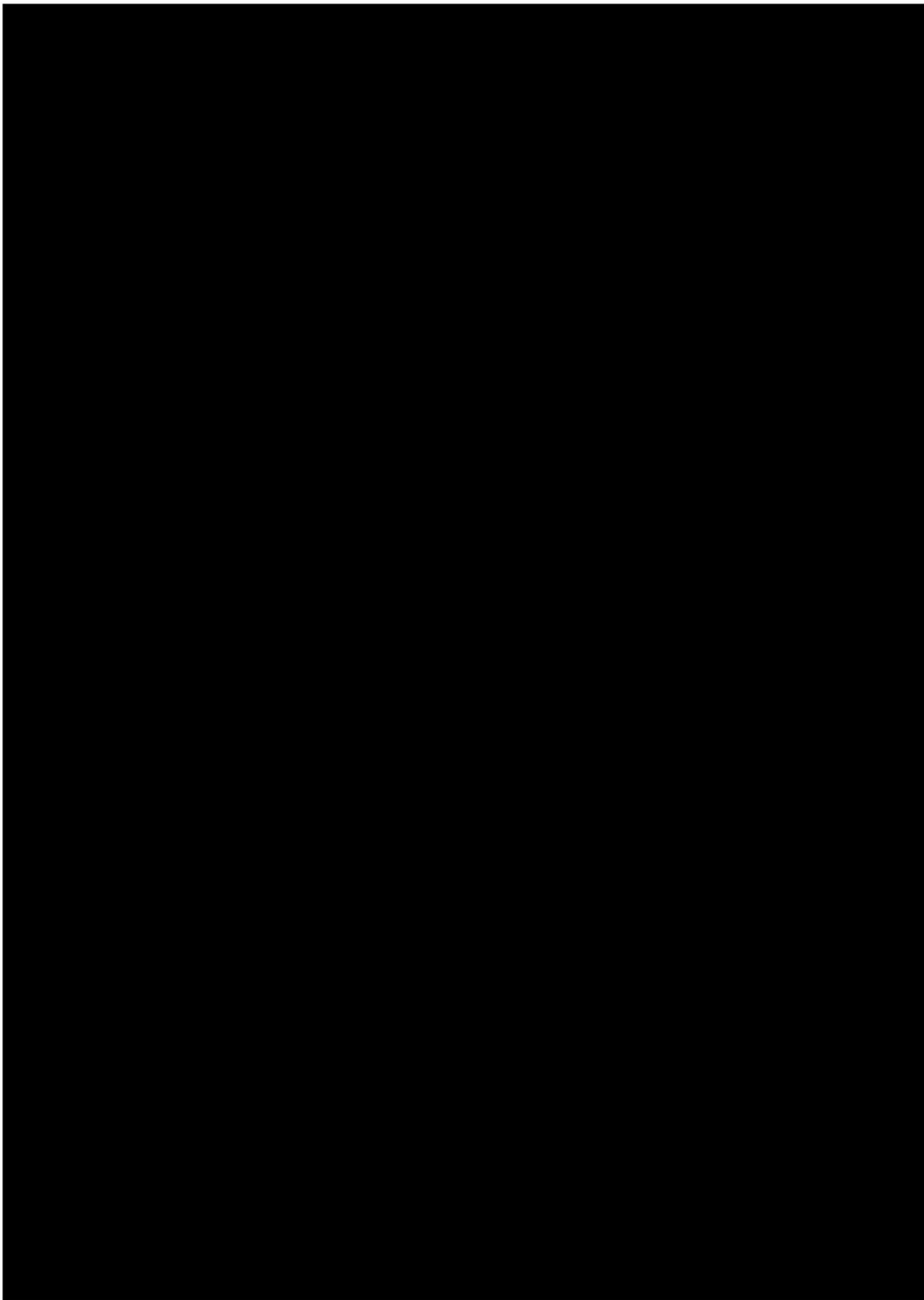
ん?

何?

また...
デートして...

いっぱいかわいがってくださいね...

もちろんだよ!..
これからもいっぱいHしよーね!..





中止?

うん。

なんか、魔王様が激オコだって、黄泉姫様にお仕置きするって言ってた。



ある日……

ぺたぺた

サクラちゃん！

今日の夜伽は中止だったって。

ぺた



あ、じゃあさー

黄泉姫様がお仕置きされてるところ、見に行ってみる？



黄泉様……
何があつたんだろ……？

黄泉姫様は自由人だから……
たまに「こーゆー」ことあるよ。

心配？

それもあるし……
呼んでもらえないのも残念……



そ、そんなことしていいの……？

大丈夫だよ。
僕らよく見に行ってるけど、
何か言われたこと一度もないよ。



勝手に先行して、みんなに迷惑かけて…
これも一度や二度じゃないんだよ？
本当に悪いと思ってる？

ごめんなさい！！！！

ごめんなさい！！！！

僕がどれだけ心配したか、わかってないでしょ？

ゆるして！！

ゴッ
ゴッ

魔王さま！！！！
ごめんなさい！！！！

ザッ
ザッ
ザッ

ブズリ



このまま一晩、反省しなさい。

お仕置きなのにこんなに濡らして、黄泉ちゃんは本当に悪い子だな！

ビクッ

ビクッ

ガクッ
ガクッ
ガクッ

んぐっ
んぐっ
んぐっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ

わっ
わっ

わっ
わっ

わっ
わっ

わっ
わっ



黄泉姫様、大変なことになってるね！

この調子だと、明日は黄泉姫様お休みかなあ？



あれ？

サクラちゃん？

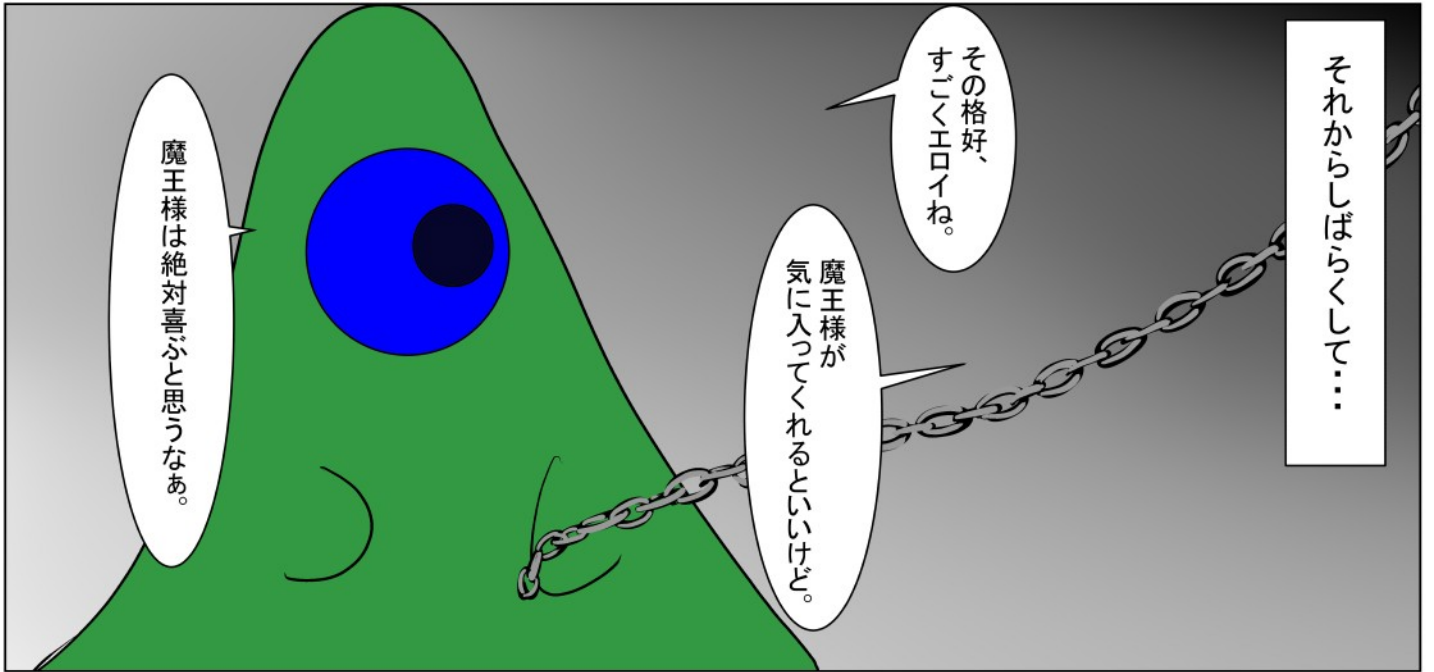
ちよつと刺激が強すぎた？

大丈夫だよ、サクラちゃんがこんなことされたりはしないから。

●
●
●
●
●
●
///

おい、サクラちゃん？

聞いている？

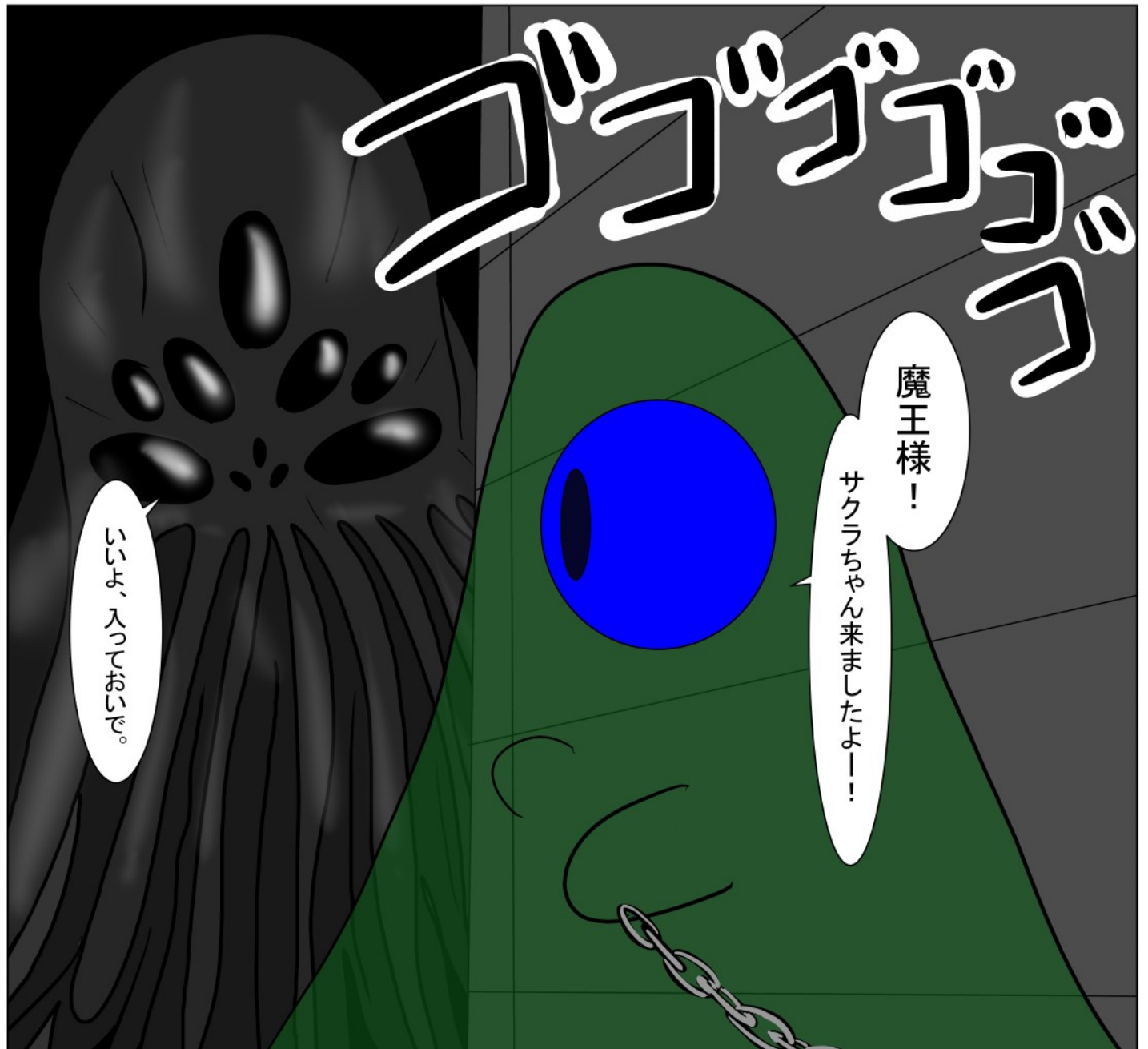


それからしばらくして……

その格好、
すごくエロイね。

魔王様が
気に入ってくれるといいけど。

魔王様は絶対喜ぶと思うなあ。



ゴゴゴゴゴ

魔王様！

サクラちゃん来ましたよー！

いふや、入ってござい。

サ、サクラちゃん…

その格好は…!!

えへ…

黄泉様に用意して頂きました。

わ、私の…

私の「ヤモ…」

いっぱいイヂメてください…♡

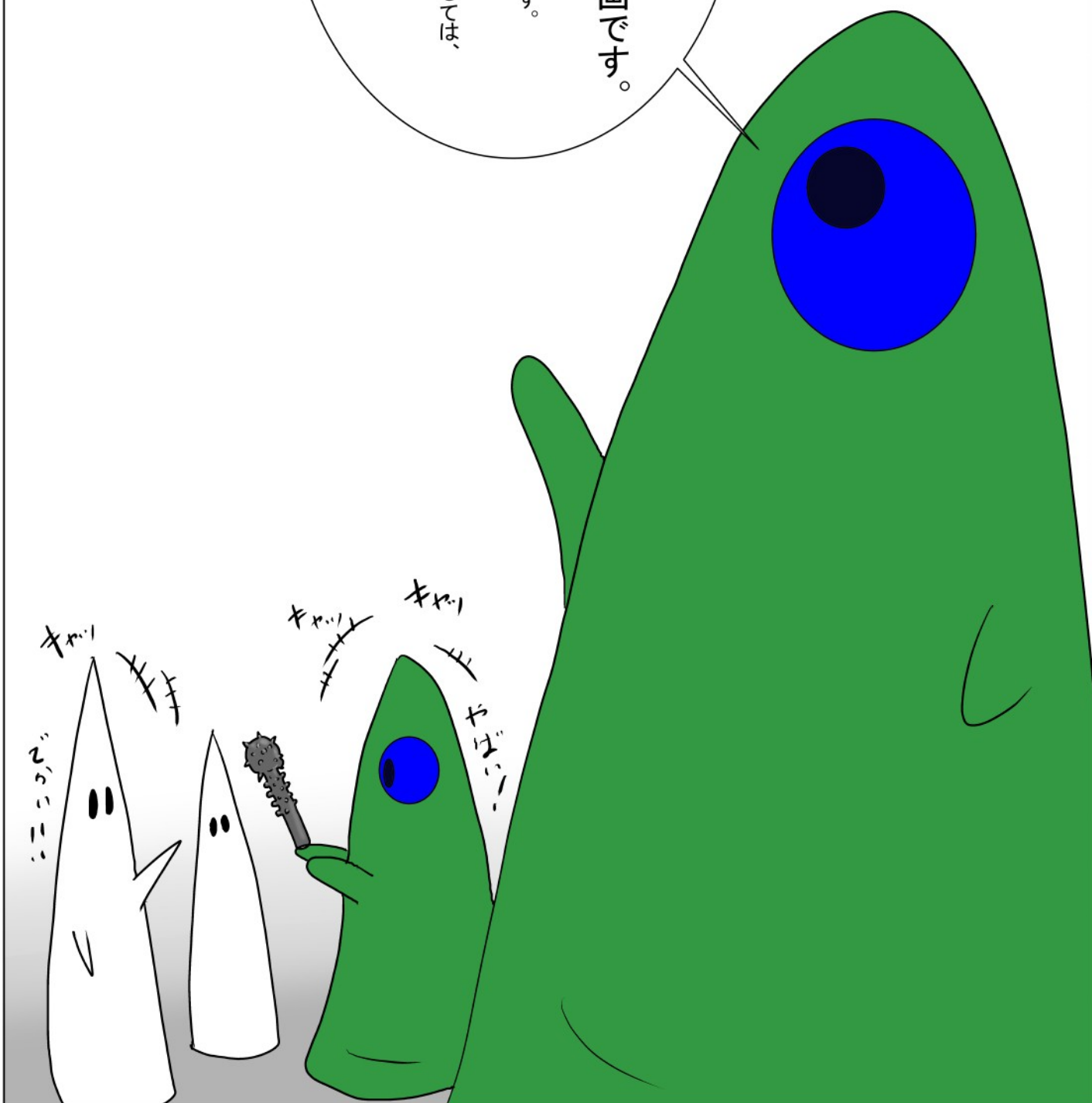
終…

もしかしたら続く…

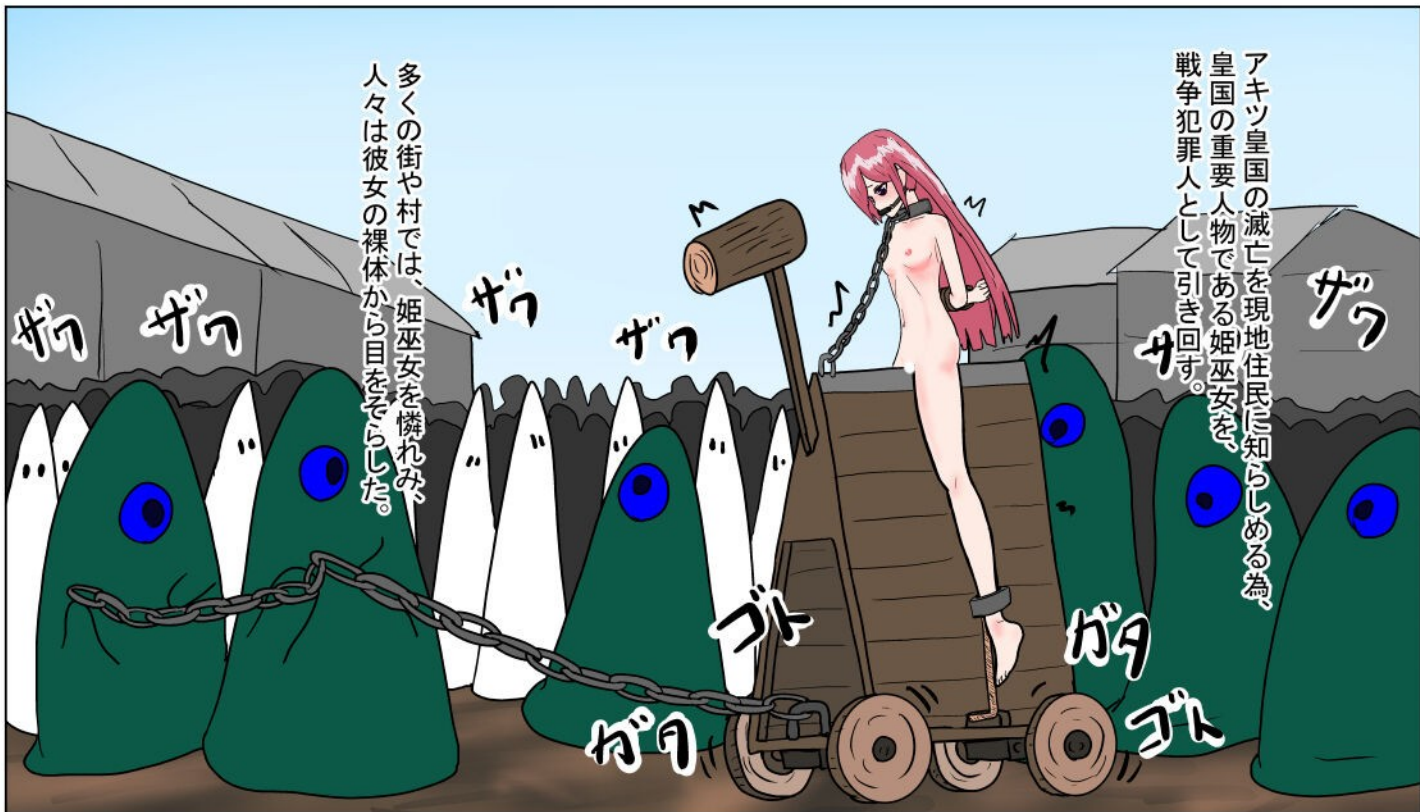
注意

ここから先はおまけ漫画です。

過剰で過激な暴力的表現を含みます。
本編とは異なるストーリー展開、
キャラ描写となります。
特に純愛過激派の諸兄におかれましては、
脳を破壊する恐れがありますので、
閲覧しないことをお勧めします。



魔導帝国の侵攻によって、アキツ皇国は滅亡した。
皇国の重要人物として捕縛された姫巫女・サクラは、
魔族たちによる苛烈な凌辱を受けることになる……

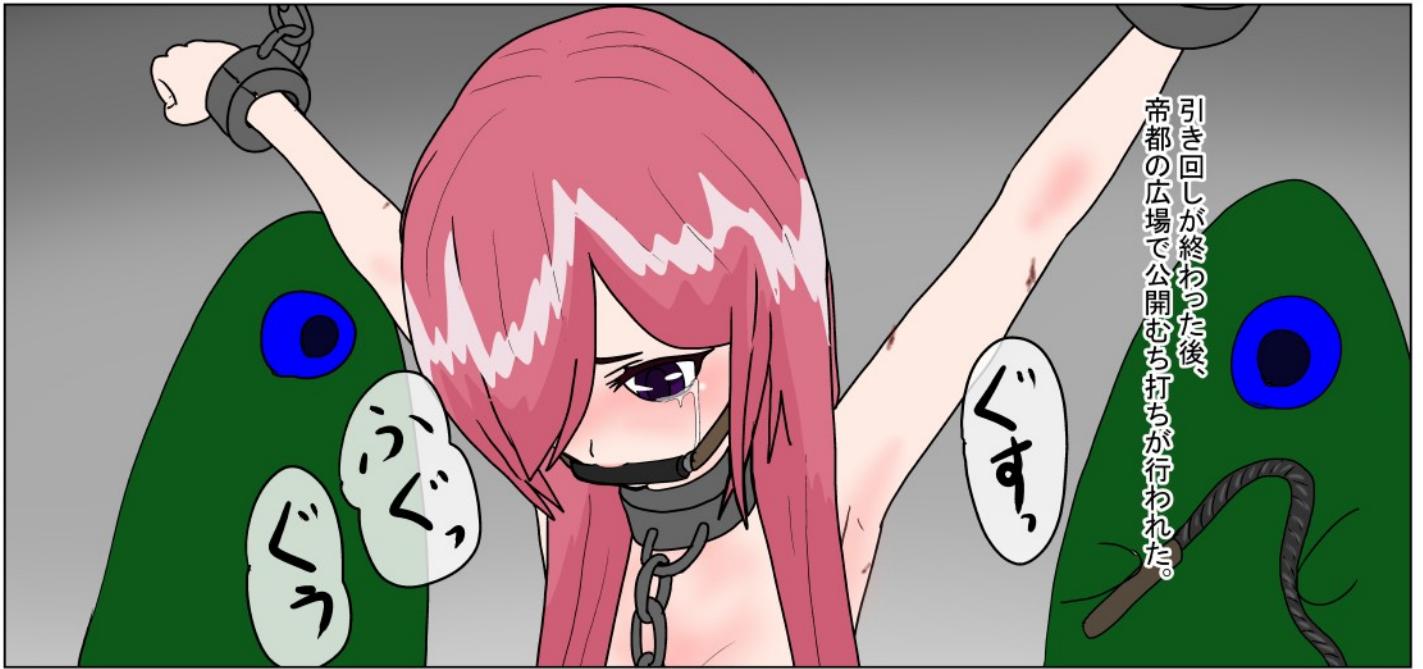


アキツ皇国の滅亡を現地住民に知らしめる為、
皇国の重要人物である姫巫女を、
戦争犯罪人として引き回す。

多くの街や村では、
姫巫女を憐れみ、
人々は彼女の裸体から目をそらした。



雑に作られた木馬には、
丸太を削っただけの車輪が取り付けられていた。
石畳や土を踏み固めただけの道では、
木馬は激しく振動し、
尖った背に股間を食い込ませた彼女を苛んだ。



引き回しが終わった後、
帝都の広場で公開むち打ちが行われた。



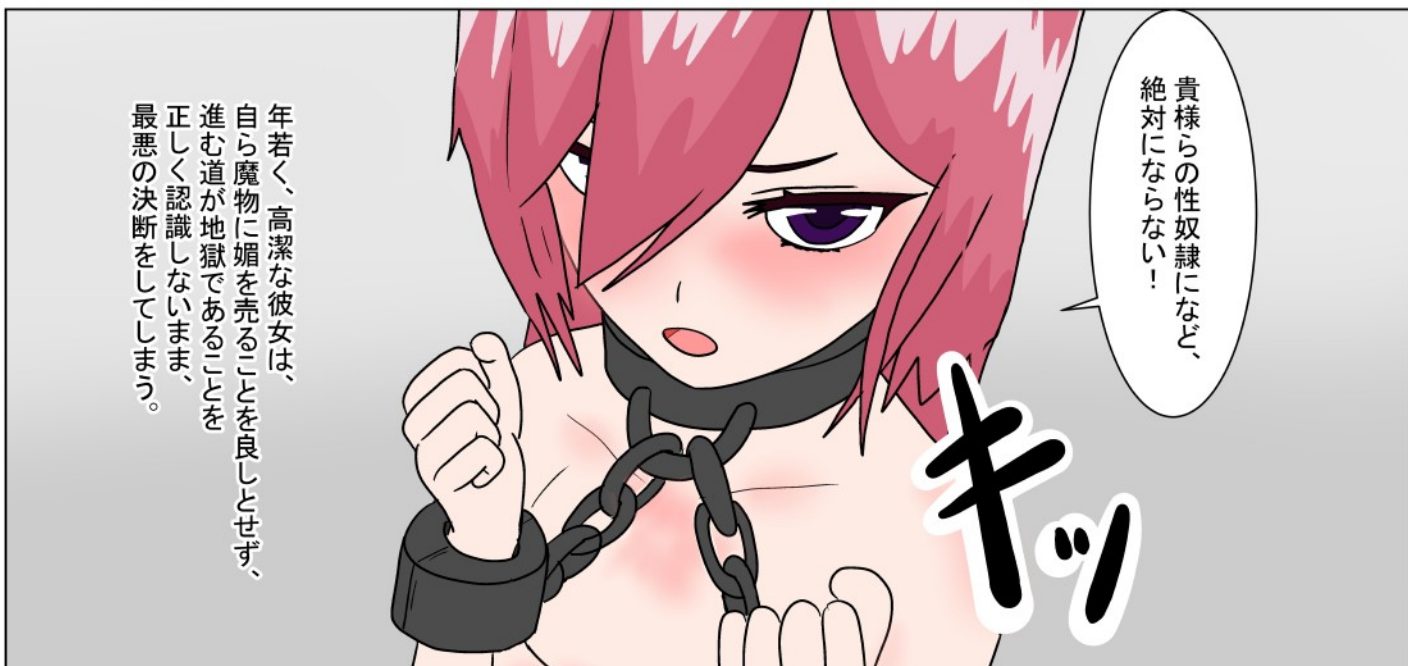
肉を引き裂き、骨を砕くような
激しいむち打ちが、
断続的に、数日にわたって行われた。

むち打ちが行われた数日間、拘束が解かれることはなく、
見物人のいなくなる夜間も
傷と裸体を晒したまま、放置され続けた。



魔導帝国へと連れ去られた彼女は、自ら性奴隷となり魔物達に奉仕するか、強制的に性玩具へと作り変えられるかの2択を突き付けられる。

4p1.
4p2



貴様らの性奴隷になど、絶対にならない!

キッ

年若く、高潔な彼女は、自ら魔物に媚を売ることを良しとせず、進む道が地獄であることを正しく認識しないまま、最悪の決断をしてしまう。



体中を徹底的な暴行と凌辱が襲う。
高潔な精神も、圧倒的な暴力の前で、
じわじわと削り取られ、消耗して行く……



精神の弱り切った彼女を、
さっとなるさっとなる凌辱が襲う。
大量の媚薬や細胞活性を促す薬剤が、
乳首やタリトリスに注入されていく。





彼女への「改造」はさらに激しさを増す。
腕は肘の関節で、足は膝の関節部分から切り取られ、
文字通り手も足も出ない。
抵抗不可能な状態で縛られ続けた。



魔物たちは気まぐれに彼女の体に
電流を流し、弄ぶ。



彼女が「保管」された地下室では、
同じような運命をたどった
玩具たちの悲鳴が、いつまでも響き続けた。



最終的に彼女は、見せしめ用の
「悲鳴人形」という玩具へと改造された。

四肢を落とされた体には
あちらこちらに電極を挿し込まれ、
スイッチ一つで高圧電流が流し込まれる。



玩具として飽きられた彼女は、
さらに手足を短く削られ、
地下室の奥深くに放り込まれた。
もはや彼女が高位の巫女だったことを
覚えてゐる者はいない。

彼女はその場で、
稀にやってくる魔物たちに
気まぐれに暴力を振るわれながら、
その短い余生を送るのだらう……

BAD END...